令和６年度版

豊田市森づくり白書



豊田市

＝表紙の写真＝

８月に行った林業体感・見学ツアーでの様子

令和６年度版

豊田市森づくり白書

この報告書は、豊田市の森林の状況や豊田市が行った森づくり施策等について、令和６年度の実績をまとめたもので、豊田市森づくり条例第19条の規定に基づき、豊田市が毎年公表するものです。

豊田市森づくり条例

（年次報告書）

第19条　市長は、森林の状況、森づくり基本計画に基づき実施された施策の状況等について、年次報告書を作成し、これを公表するものとする。

目　　次

第１章　施策体系と具体的な取り組み----------1
Ⅰ　公益的機能が発揮される森づくり[基本理念1]----------1
１　過密人工林の健全化----------1
（1）間伐候補地の集約化----------1
（2）間伐の推進----------2
２　持続可能な森づくりに向けた仕組みの整備----------4
（1）目指す森林の姿の再検討----------4
（2）森林管理の在り方の検討----------6
３　森林情報基盤の整備----------6
（1）森林に関する情報の一元化----------6
（2）森林の現況把握----------6
Ⅱ　木材の循環利用を進める森づくり[基本理念2]----------7
１　経済と保全のバランスが取れた木材の生産----------7
（1）利用間伐適地での施業の促進----------7
（2）林地保全を考慮した作業システムの構築----------7
２　効率的な林業用路網の管理と整備----------8
（1）林道の効率的な維持管理----------8
（2）作業道を中心とした効率的な路網整備----------8
３　地域材の流通と利用促進----------9
（1）原木流通量の増加と安定化----------9
（2）地域材の利用促進----------9
Ⅲ　地域づくりと一体となった森づくり[基本理念3]----------12
１　山村振興と森づくりとの融合----------12
（1）地域づくりにおける森林の活用----------12
（2）森林資源を活用した地域産業の振興----------12
Ⅳ　人材育成と共働による森づくり[基本理念4]----------13
１　森づくり人材の確保・育成----------13
（1）森林作業員の確保・育成----------13
（2）森づくりを推進する人材の確保・育成----------13
２　森づくりへの市民理解の醸成----------14
（1）森林環境教育等の普及啓発活動のさらなる推進----------14
３　共働による森づくりの推進----------16
（1）市民及び企業による森づくりの推進----------16
（2）企業・団体の森づくりのフィールド支援----------16

第２章　その他の業務----------17
Ⅰ　森林法に係る各種業務----------17
1　伐採及び伐採後の造林の届出書の受理----------17
2　森林の土地の所有者届出書の受理----------17
Ⅱ　森林課所管の土地・建物の管理----------18
1　豊田市森林会館の管理----------18
2　市有林の管理----------18
Ⅲ　「とよた森づくり委員会」の開催----------19
Ⅳ　広報業務----------20
1　講演、視察受入等の森づくり推進活動----------20
2　森林環境譲与税を活用した取組----------21
第３章　決算----------22
参考----------23
Ⅰ　豊田市における森林・林業の現況----------23
1　豊田市の森林の現状（令和6年度）----------23
2　木材価格の変化と木材生産量----------25
Ⅱ　森づくりの担い手「豊田森林組合」の現状----------26
1　組織----------26
2　事業活動----------28
Ⅲ　令和6年度の産業部森林課の組織と主な業務----------29
付表一覧----------31

利用される方へ

１．H17、H18、…… R5、R6 は、それぞれ年度を表します。
２．表中の時点は令和7年3月31日現在及び各年度末の数値を記載しました。
３．事業量の数値は、四捨五入していますので、内訳と計は必ずしも一致しないことがあります。
４．表中符号の用法は次のとおりです。
　「０」：四捨五入後単位未満、「－」：該当数字なし、「…」：不明

第１章　施策体系と具体的な取り組み

令和6年度（以下「当年度」）は、「豊田市森づくり条例」の施行から17年目、平成30年3月に策定した「新・豊田市100年の森づくり構想」（以下、「新・森づくり構想」）から7年目、令和5年3月に策定した「第4次森づくり基本計画」（以下「第4次計画」）の事業期間から2年目にあたります。

第4次計画では、新・森づくり構想に掲げる4つの基本理念に基づき10施策を設定し、公益的機能を重視した持続可能な森づくりの実現に向けた施策を実施しています。

Ⅰ　公益的機能が発揮される森づくり［基本理念1］

1　過密人工林の健全化

(1)　間伐候補地の集約化

間伐の候補地の集約化（以下「集約化」）は、間伐等の森林整備を効率的に実施するための事業で、過密人工林の健全化に大きく寄与しています。本市では平成19年度から地域森づくり会議方式の団地化を中心に年間1,100haのペースで集約化を進めてきました。私有林人工林の約65%が集約化でき、集約化がやや困難な箇所にも手を付けていくため、ペースは徐々に鈍化していく見込みですが、今後も、集約化を推進し、間伐により過密人工林の一掃を図ります。

①　地域森づくり会議方式による団地化の推進

団地化については、大字ごとの森林所有者から構成される地域森づくり会議と本市と豊田森林組合の三者による「団地間伐促進チーム」が連携して、森林の境界の明確化や人工林面積の測量、現地調査を行い、林分ごとの今後の施業計画などを定めた団地計画を策定しています。

当年度においては新たに6つの地域森づくり会議が設立され、団地計画の認定については、44団地1,048.03haとなりました（付表1、付表2参照）。

今後は、当初に団地認定した人工林の2回目の間伐が必要になってきており、新規事業地と並行して施業の検討をしていきます。

〈令和6年度に設立された地域森づくり会議〉　(単位：人)

地区	名称	構成員数	設立年月日	会議の区域
下山	大沼地域森づくり会議	15	R6.4.1	大沼町１組、２組、3組
小原	平岩地域森づくり会議	8	R6.10.2	平岩町
足助	桑田和地域森づくり会議	5	R6.10.22	桑田和町
下山	高野地域森づくり会議	6	R6.11.2	高野町
小原	仁木地域森づくり会議	17	R7.1.18	上仁木町、下仁木町
下山	花沢一組地域森づくり会議	21	R7.1.30	花沢町

〈令和6年度に認定された団地〉 (単位：団地･ha)

項目	豊田	小原･藤岡	足助	下山	旭	稲武	合計
団地数	–	5	9	9	8	13	44
面積	–	101.31	258.00	216.13	200.42	272.17	1,048.03

② あいち森と緑づくり森林整備事業（人工林）等の候補地のとりまとめ業務

本市では、愛知県から間伐事業候補地のとりまとめ業務を受託しています。当年度においては、「あいち森と緑づくり森林整備事業（人工林)」の候補地352.95ha、「保安林本数調整伐事業」の候補地41.07haのとりまとめを行いました。なお、これら候補地は、地域森づくり会議方式によりとりまとめられたものの一部に含まれます（付表3参照)。

③ 水道水源特別区域森づくり事業の候補地とりまとめ業務

矢作ダム周辺の左岸を水道水源の重要エリアに指定し、水道水源林として保全するため、水道水源特別区域森づくり事業を実施しています。なお、当区域は、所有者が地元に住んでいない等の理由により、森林の境界の明確化が困難であるため、とりまとめ対象区域の全所有者から間伐の同意を得る「一括化」方式を採用しています。前年度末で全域のとりまとめは完了していますが、一部の所有者の合意手続が遅れたところ等について調整しました。当該箇所は次年度間伐を実施する予定となっています。

④ 森林経営計画の認定状況

森林経営計画は、森林経営を受託した者等が一体的なまとまりのある森林を対象として、森林の施業及び保護について森林法11条の規定に基づき作成する計画です。当年度は、団地化した箇所の一部及び愛知県森林組合連合会の一部の施業計画190.56haを森林経営計画として新たに認定しました（付表4参照)。

(2) 間伐の推進

① ステージごとの間伐実施状況の把握

「第3次森づくり基本計画」（以下「第3次計画」）までは年間、間伐実施面積を指標としていましたが、間伐が進み、過密ステージにある人工林が減少してきたことから、第4次計画からは、ステージごとの間伐状況を把握し、2032年の過密ステージ解消に向けて、計画的に進捗管理していくこととしています。今年度は、過密ステージを154ha間伐し、過密ステージの目標に対しての達成率は97%となりました。

〈ステージごとの状況推移（令和6年度）〉 (単位：ha)

年度	R3	R5	R6	
	基準値	実績	目標	実績
過密ステージ	3,300	2,880	2,538	2,726
移行ステージ	9,900	9,511	9,086	9,196
健全ステージ	13,800	14,609	15,376	15,078
合計	27,000			

② 間伐の推進

間伐事業においては、市単独事業のほか国・県・矢作川水源基金等の様々な事業があり、森林の状況に応じて各事業を活用して間伐を実施しています。当年度における市内の私有林人工林の間伐面積は合計769.67haとなり、前年度の実績866.15haと比較して96.48ha減少しました。

間伐面積が減少した理由としては、森林作業員の不足や道路沿い等、手間のかかる場所での間伐が増加したほか、間伐が進んだことにより、まとまった過密人工林が減少してきたこと等が挙げられます。

〈事業別の間伐実施面積（令和6年度）〉　(単位：ha)

作業種	保安林本数調整伐	あいち森と緑づくり	間伐促進事業等			矢作川水源基金	水道水源保全林整備	水道水源特別区域森づくり	その他	合計
			市単独	水道水源	国県補助					
切置き	45.64	191.21	135.38	81.22	–	56.72	0	37.28	29.71	577.16
利用	–	–	0	–	170.40	22.11	–	–	–	192.51
合計	45.64	191.21	135.38	81.22	170.40	78.83	0	37.28	29.71	769.67

注1　年度別の値は付表5参照。
2　市間伐補助事業の詳細は付表6参照。
3　切置き間伐とは、間伐により伐採された樹木を搬出することなく、林内に据え置き土留めや肥料に利用すること。
4　利用間伐とは、間伐により伐採された木材を搬出し、その用途に応じて利活用すること。

③ 豊田市予算に関わる間伐事業の実績

予算不足により間伐の実施が滞ることがないように、国・県・(公財)矢作川水源基金による各種財源、補助メニューを効果的に活用して、間伐を強力に実施しています。

当年度の市事業による間伐面積の合計は、332.71haで前年度の実績303.63haと比較して29.08ha増加しました。

〈豊田市間伐事業　事業別内訳（令和6年度）〉　(単位：ha･千円)

事業名		事業量	事業費	財源内訳			
				県･国補助金	市費	矢作川水源基金	所有者負担金
間伐促進	市単独	135.38	75,239	–	75,239	–	0
	水道水源	81.22	42,997	–	42,997	–	0
	国県補助（市上乗せ）	0	0	–	0	–	0
矢作川水源基金水源林対策		78.83	46,330	–	16,551	20,881	8,898
水源環境保全林整備		0	0	–	0	–	–
水道水源特別区域森づくり		37.28	36,662	–	36,662	–	–
合計		332.71	201,228	–	171,449	20,881	8,898

注1　千円未満は四捨五入の関係で0になっている
2　間伐事業の各種財源、補助メニューに関しては付表6を参照。

2　持続可能な森づくりに向けた仕組みの整備

（1）目指す森林の姿の再検討

①　ゾーニングと目標林型の再設定

新・森づくり構想では、森林法第10条の5第1項の規定に基づく豊田市森林整備計画とは別に、立地条件に応じてゾーニングを行い、目指すべき森林の姿（目標林型）に誘導することとしています。具体的には、木材生産等の適否で人工林2区分、天然林2区分を設定し、とくに人工林で木材生産の不適地では「針広混交林」に誘導することとしています。しかし、実行性の面で課題があることから、森づくり委員会においてゾーニングや目標林型の必要性について議論しました。

その結果、ゾーニングについては、次期構想では人工林1区分、天然林1区分の計2区分に集約しました。これまでのゾーニングの目的として、林業不適地については、所有者にその旨を認識してもらうとともに、無理な施業を行って山地災害が発生しないようにすることでした。しかし、所有者においてこの認識が十分に高まってきたとともに、豊田市森林保全ガイドラインの策定により山地災害を抑制する体制は整備されたことから、木材生産等の適否による区分を集約することにしました。今後は、ゾーニングに代わり、林業事業体はどのエリアでも原則として、森林の持つ公益的機能の維持に配慮しながら木材生産を行うような体制づくりを推進していくこととします。

また、目標林型については、針広混交林という特定の目標林型を目指すのではなく、公益的機能、とくに水源かん養機能と土砂災害防止機能の高い森林として、樹木の根系が発達し、下層植生が繁茂する森林を目指します。

ゾーニング及び目標林型ともに国や一般的な自治体の方針とは異なっていますが、森林課発足以来、約20年間にわたり様々な取り組みを試行錯誤しながら取り組んできた結果をもとに導き出した結論であり、今後はこの方針に基づき、持続可能な森づくりを進めていきます。

〈とよた森づくり委員会　会議録（2024 年度）二次元コード〉

URL：https://www.city.toyota.aichi.jp/shisei/kaigi/shingikai/1002077/1008158/1060854.html

②　目標林型に向けた誘導手法の検討

人工林の間伐が森林の土砂災害防止機能や水源かん養機能などの公益的機能に与える影響に関しては、科学的なデータが乏しく、経験的推論の域を出ていません。このため本市では、間伐モニタリング調査と水源かん養機能モニタリング研究の2種類のモニタリングを実施しています。

これらのデータは、適宜、専門家を交えた検討会を実施し、森づくりの方針や施策に反映させています。

ア　間伐モニタリング調査

人工林の間伐が下層植生や樹木の成長プロセスに与える影響について調べるため、間伐率や間伐手法が異なる調査区を市有林内75か所に設置し、3グループに分けて3年ごとに植生調査と林分調査を実施しています。

開始から17年目にあたる当年度は、第2グループの23か所で、5回目の調査を実施しました。その結果、令和3年度に実施した第2グループの調査と比較し、草本層・低木層で植被率の減少傾向が見られました。

〈調査年表〉

設定年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
H20 (第1グループ)	○ 伐採前			○ 1回目			○ 2回目			○ 3回目		
H21 (第2グループ)		○ 伐採前			○ 1回目			○ 2回目			○ 3回目	
H22 (第3グループ)			○ 伐採前			○ 1回目			○ 2回目			○ 3回目

設計年度	R2	R3	R4	R5	R6
H20 (第1グループ)	○ 4回目			○ 5回目	
H21 (第2グループ)		○ 4回目			○ 5回目
H22 (第3グループ)			○ 4回目		

イ　水源かん養機能モニタリング研究

人工林の間伐が森林の水の動きに与える影響を調べるため、市有林内に試験地を設置し、東京大学と協力して、間伐前後の水量や水質などの変化を調査しています。開始から10年目となる当年度は、例年同様に、気象・水量・水質・土砂量などの各種観測データの蓄積を行いました。

〈研究概要〉

年度	調査地	
	大洞市有林	御内市有林
試験流域	切置き間伐流域（A-1） 対照流域　（A-2）	皆伐流域　（M-1） 利用間伐流域　（M-2） 皆伐流域　（M-3） 対照流域　（M-4）
観測項目	①気象　②流量 ③樹幹遮断量 ④表面流出量 ⑤土砂流出量　⑥水質	①気象　②流量 ③土砂流出量 ④水質
H27	調査開始	–
H28	↓	調査開始
H29	↓	↓
H30	切置き間伐 （表面流プロット内）	↓
R1	切置き間伐 （間伐区域全体）	↓
R2	切置き間伐 （樹幹遮断プロット内）	↓
R3	↓	↓
R4	↓	利用間伐・皆伐
R5	↓	↓
R6	↓	↓



〈樹幹流量の観測〉



〈流出量の観測〉

（2）森林管理の在り方の検討

森の相談窓口

第4次計画の策定に関して、地域会議に対する諮問を行ったところ、下山地域会議から「森林所有者の困りごとをワンストップで相談できる窓口の設置」についての答申を受けました。

この答申とアンケート結果を踏まえ、森林所有者の意欲や意識の低下への対応策のひとつとして、森林所有者が、相続や管理方法などの困りごとについてワンストップで相談できる「森の相談窓口」を昨年度に引き続き、今年度も愛知県豊田加茂農林水産事務所、豊田森林組合、本市の連携により開設しました。

〈開催場所と実施状況（令和6年度）〉　（単位：件・人）

地区	開催場所	実施日	相談件数	人数
下山	豊田市役所　下山支所	R6.10.12	19	9
小原	豊田市役所　小原支所	R6.10.18	5	5
旭	旭交流館	R6.10.23	17	15
豊田	とよた市民活動センター	R6.10.27	9	7

3　森林情報基盤の整備

（1）森林に関する情報の一元化

森林の現況や境界等の森林に関する情報については、県が作成する森林簿と森林計画図、法務局備え付けの地籍図、地形図、航空写真等、様々な主体と媒体で管理されていますが、本市では、平成19年度に市独自の森林GISを導入して、これらを一元的に管理し、団地化業務や提案型施業の効率化を図っています。また、森林計画図や地籍図は現況と乖離していることが多いため、団地化業務によって新たに得られる森林境界等のデータを整備し、森林現況データの精度を高めています（付表7参照）。

（2）森林の現況把握

市内全域の森林の現況（樹種や立木密度等）を客観的に評価するため、平成27年度から平成28年度にかけて航空写真解析を実施しています。当年度はその手法を費用対効果の面から検証したところ、前回と同様、航空写真により解析することとしました。

Ⅱ　木材の循環利用を進める森づくり[基本理念2]

1　経済と保全のバランスが取れた木材の生産

（1）利用間伐適地での施業の促進

利用間伐と皆伐について、山地災害のリスクが低い場所での実施を促すため、「豊田市森林保全ガイドライン（以下、「ガイドライン」という。）」を平成30年度に策定しています。このガイドラインでは、とくに路網の作設指針を示すとともに、皆伐面積は5ha未満とすることなどを推奨しています。

当年度は、ガイドラインに適合した施業となるように適宜現地調査と指導を行っており、とくに皆伐については19件（計22.69ha）実施しました。

〈ガイドラインに基づく現地確認実績（令和6年度）〉　（単位：件・ha）

皆伐面積	件数	合計面積
1ha未満	11	7.20
1ha以上5ha未満	8	15.49
5ha以上	0	0.00
合計	19	22.69

（2）林地保全を考慮した作業システムの構築

急傾斜地が多い本市においては、これまでの車両系集材では搬出路開設における環境負荷が大きく、また、旧来の架線系集材は環境負荷が少ない一方で架設コストが大きいため、経済と保全のバランスがとれた木材生産が可能な木材の搬出手段が必要です。

当年度は、新たに丸兼林業（有）がフォワーダを導入し、本市はその費用の一部を補助しました。リース費用、レンタル費用についても、以下のとおり本市が補助しています。

〈高性能林業機械の各種補助事業（令和6年度）〉　（単位：千円）

事業名	内容	補助金額	対象機種	林業事業体
高性能林業機械導入事業	新規購入	4,300	フォワーダ　1台	丸兼林業（有）
高性能林業機械施業促進事業	リース	1,763	プロセッサ　2台 フォワーダ　1台	豊田森林組合
	レンタル	548	－	豊田森林組合

注　年度別の値は付表8,9参照。

2　効率的な林業用路網の管理と整備

（1）林道の効率的な維持管理

近年の人件費や資材費の高騰、大雨による被害の増加等によって、増加傾向にある基幹路網である林道及び林業専用道（以下「林道」）の維持管理費を抑えるため、路線別に優先度をつけて維持管理を効率化するとともに、排水施設を中心とした林道施設の機能維持による林道の被害軽減に取り組んでいます。

①　優先度に応じた基幹路網の維持管理

基幹路網である林道の維持管理を効率化するため、林道沿線における木材生産の実施状況等に応じて、路線別に管理区分を設定しました（当年度：管理区分設定率92%）。

②　施設監視型の維持管理

大雨等による林道被害を抑制するため、林道の維持管理体制を壊れたら修繕する「事後保全型」から、排水施設を定期点検する「施設監視型」に移行しました。

当年度は、林道パトロール委託において、全排水施設を点検し、土砂等の堆積により機能が低下していた排水施設の清掃を実施しました。

（2）作業道を中心とした効率的な路網整備

林業用路網の整備・維持コストの縮減を図るため、林業経営体等による作業道を中心とした細部路網の整備を推進しています。

当年度は、（公財）矢作川水源基金の補助事業により、豊田森林組合が作業道529mを開設しました（付表10参照）。また、本市の補助事業により636m（付表11参照）、豊田森林組合が41,204m（付表12参照）、森林所有者が3,083m（付表13参照）、全体で44,287mの搬出路を整備しました。

3　地域材の流通と利用促進

（1）原木流通量の増加と安定化

本市は、森林資源の有効活用と利用間伐による森林整備の推進を目的として、平成 30 年度に中核製材工場を誘致しました。

当年度は、安定した豊田森林組合からの供給等もあり、中核製材工場における原木取扱量は43,314㎥となり、前年度実績37,565㎥と比較して、5,749㎥の増加となりました。また、市内からの中核製材工場への原木供給量は32,784㎥と、前年度実績29,260㎥と比較して、3,524㎥の増加となり、近年の市内からの原木供給量は比較的安定的な数量で推移しています（付表14参照）。

〈地域材の生産・流通・利用の達成状況（令和6年度）〉

指　標	実　績（A）	目 標（B） 上段：2027年度 下段：2032年度	達成率（A/B） 上段：2027年度 下段：2032年度
市内からの中核製材工場への原木供給量（m^3）	32,784	28,800	114%
		28,800	114%
中核製材工場における原木取扱量（m^3）	43,314	45,000	96%
		45,000	96%

注　達成率の小数点以下は四捨五入。

（2）地域材の利用促進

①　地域材の供給体制の強化

SDGｓやカーボンニュートラルへの関心の高まりから、企業や自治体などを中心に地域材など身近な森林資源の活用が注目されています。日本の縮図と言われる本市においても脱炭素社会の実現には身近な森林資源である豊田市産材の利用促進は必要と考えています。

このため、本市では、平成30年3月に設立した地域材のコーディネート組織である（一社）ウッディーラー豊田を中心に、豊田市産材の認知向上と市内流通を促進しています。

当年度は、豊田市産材の調達や豊田市産材を使った製品の購入等199件の相談があり、協力企業との連携による材料供給や商品開発を行いました。また、森林や木材の学びとなる森林ツアーやワークショップ、講座の実施により、豊田市産材の利活用に関する普及啓発を行いました。

〈（一社）ウッディーラー豊田の所在地及び構成員（令和6年度）〉

所在地		豊田市東広瀬町高根下24-1（豊田市森林会館）
役員	代表理事	樋口　真明
	理事	鈴木　禎一（八幡製材）伊藤　秀和（西垣林業㈱）川合　寿人（豊田森林組合） 水嶋　淳　（水嶋建設㈱）湯川　修平（㈱ゆの字） 杉本　憲彦（豊田市産業部農林振興室森林課）
	監事	米本　益栄（米本益栄税理士事務所）

〈（一社）ウッディーラー豊田の取組み（令和6年度）〉

イベント名	開催日	会場	活動内容
おまねきマルシェ	5月4日	あぐりん村	木っとコインの提供
愛知トヨタ　マイ箸づくり	5月11日 5月12日 5月19日 1月25日 1月26日	愛知トヨタ各販売店 愛知トヨタみよし店 愛知トヨタ昭和橋店 愛知トヨタ東刈谷店 愛知トヨタ高蔵寺店 愛知トヨタ高蔵寺店	ワークショップ
松坂屋名古屋店 「地球にやさしいさくらパンダおせち」植樹祭	5月18日	松坂屋名古屋店	植樹体験
とよたビジネスフェア	5月23日 5月24日	スカイホール豊田	製品展示
カホン作り	7月21日	豊田市森林会館	ワークショップ
マイ箸づくり（矢作川水源基金）	8月11日	豊田市森林会館	ワークショップ
MOCTION	9月26日 ～10月8日	国産木材の魅力発信拠点MOCTION	製品展示
新城地域林材業振興協議会	10月2日	新城市勤労青少年ホーム	基調講演
ZIP-FM　秋酒祭　愛知	10月5日 10月6日	久屋公園エンゼル広場	ステージ設営
大人の時計作り	10月16日	T-FACE	ワークショップ
森Thank You　～マジ森～ （とよた森づくり月間イベント）	10月22日 ～28日	T-FACE連絡通路	体験型ジオラマ、“マジ森”な企業・市民団体等の活動PRブース展示、物販、動画放映
ZIP-FM　秋酒祭　岐阜	10月26日 10月27日	金公園	ステージ設営
豊田市区長会	11月15日	豊田市森林会館	基調講演、ワークショップ
森林見学会	11月28日	細田町地内	視察対応、ワークショップ
クリエーターズマーケット	12月7日 12月8日	ポートメッセなごや	製品販売
箸づくり 愛知県林務課イベント	12月14日	イオン三好店	ワークショップ
Made In Japan Project	1月21日	名古屋市立植田中学校	講義、ワークショップ
総合的な探求の時間	1月30日	名古屋北高校	講義
MOCTION	3月11日	豊田市森林会館	視察対応
マイ箸づくり	通年	豊田市森林会館	ワークショップ
アロマフレグランスづくり	通年	豊田市森林会館	ワークショップ
シロフォンづくり	通年	豊田市森林会館	ワークショップ
時計づくり	通年	豊田市森林会館	ワークショップ
ZIP-FM　Podcast WOOD　CAST ひらりと森の木漏れ話	年間を通じて 毎週木曜配信	–	ラジオ出演

②　地域材の見せる化

ア　テナント店舗等木質化モデル創出事業補助金

テナント店舗等における地域材を活用した木質化に対して、経費の一部を補助し、情報発信することで、地域材の活用促進と市民への見える化を図りました。当年度は1店舗に補助を行いました。

〈補助金支出店舗一覧（令和6年度）〉

店名	所在地	業態	使用箇所
看多機さち	栄生町	介護施設	看板、家具、什器



〈看板〉



〈家具〉

イ　建築物等における地域材の利用

公共建築物については、平成24年度に「豊田市公共建築物等の木材利用の促進に関する基本方針」を策定し、コストや利便性等を考慮したうえで最大限地域材が活用されるような検討方法が定着してきました（付表15、付表16参照）。

世界的なカーボンニュートラルへの意識の高まりや、木材利用に関する法律や建築基準法、国産材活用を促す法改正等、地域材を取り巻く環境は大きく変化しており、市内においては、中核製材工場の誘致やウッディーラー豊田の設立によって、豊田市産材の市内流通体制も安定化しつつあります。

こうした背景から、令和5年12月には前述の方針を「豊田市建築物等における木材利用の促進に関する基本方針」に改正しました。改正においては、脱炭素社会の実現を目標に掲げ、「見える部分に積極的に利用する」方針とし、矢作川流域を視野に新たに「流域産材」を定義しました。

当年度は、地域材利用に対する需要拡大及び理解促進を目指すことを目的として、当基本方針や豊田市博物館を事例に建築物における木材利用について周知する「地域材活用セミナー＆豊田市博物館見学会」を実施しました。引き続き、地域産材がより使われやすい環境を整え、公共建築物に限らず民間建築物や家具・備品への木材利用を促進していきます。

Ⅲ　地域づくりと一体となった森づくり[基本理念3]

1　山村振興と森づくりとの融合

（1）地域づくりにおける森林の活用

本市では、人工林の健全化に向けて間伐を効率的に実施するため、大字単位で地域森づくり会議を設立し、私有林人工林の集約化（森づくり団地方式）を進めています。

その過程において森林所有者は、境界確認や団地計画の作成には関わっていますが、森づくり団地計画樹立により、森林管理を森林組合に委託することにより、所有林への管理意識が薄くなる傾向があります。さらに、森林管理は長期に及ぶため、団地計画樹立後に世代交代した場合は、主体的に所有林を確認する機会がほとんどないのが実情です。

そこで、当市は地域が主体となった地域づくりの中で、森林の管理や活用をしていくための支援をしています。前年度に引き続きモデル事業を進めている、旭地区の押井地域森づくり会議では、あいち森と緑づくり税を活用した里山林整備を実施し、当年度で支援が終了しました。地域住民が中心となって作成した里山林の保全・活用計画を実行することで、今後も地域住民が主体となった森林整備と里山林の利活用を継続していきます。

なお、足助地区においても御内森づくり会議にて事業を計画中であり、集落で日影になってしまう山林の整備や間伐材の活用等を目標に掲げ、地域との話し合いを継続しています。同じく、稲武地区においても隣接する2つの森づくり会議でそれぞれの森林課理の方策について、森林整備や森林の活用方法について検討を開始しました。

（2）森林資源を活用した地域産業の振興

森林資源を活用した産業は、林業や林産業、キノコなどの特用林産業が代表的ですが、これらは年々衰退傾向にあります。一方、キャンプ場や林道を活用したトレイルランなど、森林空間を活用した「森林サービス産業」が近年注目されています。

当年度は森林課内のプロジェクトにおいて、本市が森林サービス産業に関する情報収集や創出の可能性について、検討を行いました。

Ⅳ　人材育成と共働による森づくり[基本理念4]

1　森づくり人材の確保・育成

（1）森林作業員の確保・育成

①「緑の雇用」事業等の活用

「緑の雇用」事業は、林業労働力の確保や働きがいをもって定着できる就労環境の整備を目的に、新規就業者に対して講習や研修を行い、キャリアアップを支援する林野庁の事業です。市内林業経営体は本事業を積極的に活用しており、当年度は2人の研修生を受け入れ、平成15年度から現在までに、計144名を受け入れています（付表17参照）。

②　新規就業者育成支援

令和2年度から、豊田森林組合に新規採用された林業従事者の育成を目的に、本市は「新規育成推進事業補助金」において高卒採用者による林業大学校への就学及び資格取得に必要な費用の一部を補助しています。これまでに9人が本事業によって林業大学校を卒業しており、当年度も6名が本事業を利用して就学しています（付表18参照）。

③　森林作業員基礎技術研修

令和4年度から、林業大学校等を卒業した森林作業現場の安全性の向上とそれによる作業員の定着を目的とした「森林作業員基礎技術研修」を実施しています。具体的には、経験の浅い森林作業員に対して、チェーンソーの目立て等の基礎から伐倒練習機を活用した演習と森林作業員として必要な知識を身につけるための座学を繰り返し行い、基礎技術の習得を目指すものであり、当年度は計16回実施しました。

④　人材確保に向けたイベントの実施

林業の作業見学や実際に現場で働く人との交流を通じて、市内林業経営体への就業を促進することを目的に、「林業体感・見学ツアー」を実施しました。当年度は、県内の高校と全国の林業大学校から計8名が参加し、市内林業経営体計4社の職員との交流や現場の見学をしました。

⑤　林業安全講演会の実施

労働災害の発生が多い林業界において、本市では安全を最優先とする人材育成に取り組んでいます。当年度はWoodsman Workshop代表の水野氏を講師としてお招きし、林業安全講演会を実施しました。矢作川流域圏の林業関係者及び行政職員計64名が参加し、林業における安全管理について学びました。

（2）森づくりを推進する人材の確保・育成

市における専門職員の配置

森づくりの構想を実現するためには、市の果たす役割も大きいことから、その担い手となるプロフェッショナルな人材は不可欠となります。

当年度の森林課においては、森林・林業に関する専門教育を受けた職員は、3人在籍しており、そのほかに森林総合監理士（フォレスター）に登録された職員が1人在籍しています。

2　森づくりへの市民理解の醸成

（1）森林環境教育等の普及啓発活動のさらなる推進

森づくりに関わる人材や関心を持つ人を増やすために、目的や対象別に森林環境教育や普及啓発事業を実施しています。

①　とよた森林学校

平成18年度に設立した「とよた森林学校」は、本市の森林普及事業の柱として18年目を迎えます。

令和2年度から3年度の森林普及検討会議等による議論を受け、令和4年度から5年度においては、「豊田森林組合への委託」、「（一社）おいでん・さんそんへの委託」、「おいでん・さんそんとよた森林学校運営委員会への補助事業」の3つの運営体制に分割して実施しましたが、事務局が複数となったため、事業管理に混乱が生じてしまいました。また、とよた森林学校の目的や理念が不明確化する等、新たな課題に直面したため、実施体制について大幅な見直しを行いました。

その結果、とよた森林学校の目的や理念を再整理した上で、令和6年度からはこれまでのとよた森林学校関係者等で構成された「とよた森林学校実行委員会」を組織し、講座については本委員会が実施しました。

本年度は、11講座/延べ32回実施し、加えて間伐ボランティア初級講座の受講者を対象にしたフォローアップ講座を3回実施しました（付表20参照）。

とよた森林学校の実績

〈講座概要（令和6年度）〉

(単位：回･人)

講座名	回数	参加者数
森林入門セミナー	3	19
楽しい森林ウォーキング	3	20
森の花を楽しもう	3	20
夏休み昆虫講座	2	15
多様な間伐理論を学ぼう	3	13
間伐ボランティア初級講座	3	16
間伐ボランティア フォローアップ講座	3	14

講座名	回数	参加者数
森林観察リーダー養成講座	6	9
森の巨木めぐり	3	22
みんなで考える森の歴史とミライ	3	12
森林と災害	2	14
山を持ったら知っておきたいこと 10選	1	23
合計	35	197

②　森林出前講座の開催

本市の森づくりについて理解・関心のある方を増やすため、学校や企業等の団体に対し、講師を派遣する森林出前講座を実施しました。当年度の開催回数は20回、受講者数は延べ258人でした（付表21参照）。

③「とよた森づくりの日」と「とよた森づくり月間」における普及啓発活動

豊田市森づくり条例において、10月26日を「とよた森づくりの日」、10月を「とよた森づくり月間」と定めています。令和5年度から、森から市民へ感謝を伝えるイベント「森 Thank You」を実施しています。当年度は、業種やジャンルを超えて、森に本気で活動する人々を“マジ森”と呼び、“マジ森”な人々の展示を通じて、来場者に“マジ森”の想いを知ってもらうというコンセプトを新たに企画し、イベント「森 Thank You ～マジ森～」を実施しました。当イベントでは、10月22日から28日の7日間、T-FACE6階の連絡通路において開催し、間伐作業を疑似体験できる体験型ジオラマの展示や“マジ森”な企業・市民団体等の活動ＰＲブース展示、物販、動画放映を行い、約7,700人が来場しました。

また、森づくり月間をPRするため、豊田スタジアム屋根外縁部のチューブライトを森林の緑色に点灯しました。



〈間伐体験型ジオラマ〉



〈“マジ森”な企業･市民団体等の活動 PR ブース展示〉



〈物販〉

④　流域学習プログラム事業の実施

本市の森林だけでなく、矢作川など流域の自然環境を学ぶ新たな教育プログラムの構築を、市環境政策課と矢作川研究所と連携して進めています。このプログラムは、市内の小学5年生で学ぶ社会科の単元「わたしたちの生活と森林」「環境を守るわたしたち」を身近な題材での学ぶもので、広く継続的に自然環境教育を実施していくことを狙いとしています。当年度は、このプログラムの校外学習を市内の小学校13校、児童数延べ619人で実施しました。

⑤　豊田市・森の総合サイト「Tomori」の運営

令和3年度に開設した豊田市・森の総合サイト「Tomori」において、森林環境教育の講座等を主催する団体や個人に、実施講座や会報誌等の掲載を支援しています。当年度は、8団体からサイト使用の申請があり、18講座を掲載しました。

URL:https://tomori-toyota.net/

〈Tomori 二次元コード〉

3 共働による森づくりの推進

（1）市民及び企業による森づくりの推進

持続的な森林管理の一環として、主体的に森づくりに取り組む森林ボランティアやNPO、企業などと連携を深め、共働による森づくりを推進しています。

①森林ボランティア団体の活動支援

本市にある矢作川流域は、森林ボランティアの活動が盛んな地域であり、とよた森林学校の修了生等から構成されるボランティア団体が毎年のように結成され、今後も市内の活動が活発化していくことが期待されます。本市では、こうした森林ボランティアが自立の精神を持って活動できるように以下の支援を行っています。

ア　森林ボランティア始動支援事業

活動を始めるにあたっては、さまざまな道具や装備等をそろえる必要があります。本市では、新たに結成された森林ボランティア団体に対して、初動2年間に限り、資金を補助しています。当年度は、3団体に補助しました（付表22参照）。

イ　森林ボランティア安全対策事業

活動に伴う傷害保険の加入を促進するため、ボランティア保険料を補助しています。当年度は、14団体に補助しました（付表23参照）。

（2）企業・団体の森づくりのフィールド支援

森林ボランティアの自主活動や企業の社会貢献活動を促進するため、市有林等の一部を活動フィールドとして提供しています。

当年度は、6つの団体と森林管理に関する協定を結んだうえで、木瀬市有林、稽古屋市有林、めぐみの森市有林、大洞市有林、保全区域緑地（宮前町）を提供しました。

第２章　その他の業務

Ⅰ　森林法に係る各種業務

１　伐採及び伐採後の造林の届出書の受理

森林法第10条の8第1項の規定に基づき、森林の伐採を行う者からの届出154件を受理しました。(付表24参照)。

〈伐採及び伐採後の造林の届出の件数と面積〉

項　目		件数	面積(ha)
主　伐		74	37.36
	うち転用	43	13.75
間　伐		80	451.32
合　計		154	488.68

２　森林の土地の所有者届出書の受理

森林法第10条の7の2第1項に基づき、売買や相続などによる新たな所有者からの届出222件を受理しました（付表25参照)。

Ⅱ　森林課所管の土地・建物の管理

1　豊田市森林会館の管理

豊田市森林会館の利用実績は24件341人でした（付表26参照）。また、利用者のニーズに応え、木材の端材、蚊取り線香、キノコ菌の販売を行いました。

2　市有林の管理

「市有林ゾーニング・活用計画」に基づき、以下のとおり森林整備を行いました。とくに、御内市有林では、令和5年度末に豊田森林組合が導入したタワーヤーダを活用した「魚骨状間伐」により搬出しました。また、補助金として「美しい森林づくり基盤整備交付金を利用しました（付表27、付表28参照）。

〈市有林別の作業実績（令和6年度）〉　（単位：ha･千円･㎥）

市有林	作業区分	施業面積	事業費		素材生産		備考
				うち国･県補助金	搬出量	販売額	
御内	利用間伐	2.00	8,692	5,000	491	6,186	タワーヤーダ
西市野々	切置き間伐	5.20	5,875		－	－	－
合計		7.20	14,567	5,000	－	－	－

Ⅲ「とよた森づくり委員会」の開催

とよた森づくり委員会（以下「森づくり委員会」）は、森づくり構想や基本計画について協議する委員会として平成17年度に発足し、平成19年度に策定した豊田市森づくり条例に位置付けられています。当年度は2028年にリニューアルする「豊田市100年の森づくり構想」に向けて以下の内容で議論しました。

〈とよた森づくり委員会 会議録（2024 年度）二次元コード〉

URL：https://www.city.toyota.aichi.jp/shisei/kaigi/shingikai/1002077/1008158/1060854.html

〈森づくり委員会委員（15人）/オブザーバー（2人）〉

役 職	氏　　名	所　　属　　等
委 員	赤堀 楠雄	林材ライター
	臼田 寿生	岐阜県森林研究所 森林資源部 主任専門研究員
	岡本 透	（国研）森林総合研究所 関西支所 グループ長
	片桐 正博	豊田森林組合 代表理事組合長
	國友 淳子	トヨタ自動車（株） 社会貢献推進部 プログラム推進室 室長
	蔵治 光一郎	東京大学 大学院農学生命科学研究科 教授
	鈴木 辰吉	森林所有者
	富永 英明	あさひ製材 代表
	新津 裕	岐阜県立森林文化アカデミー 講師
	西垣 貴文	西垣林業（株） 取締役副社長
	樋口 真明	（一社）ウッディーラー豊田 代表理事
	藤富 勝行	公募委員
	古橋 真人	（一財）古橋会 常務理事
	水嶋 淳	水嶋建設（株） 代表取締役社長
	横井 秀一	造林技術研究所 代表
オブザーバー	成瀬 和也	愛知県豊田加茂農林水産事務所 林務課長
	鈴木 敬介	豊田森林組合 参事兼森林整備課長

注 委員は令和７年3月31日現在。

〈森づくり委員会の開催状況（令和6年度）〉

開催日	場　所	内　　容
7月23日	市役所南庁舎 南52会議室	・令和５年度取組実績及び令和６年度取組概要 ・令和６年度の議事予定 ・森林の区分と目標とする森林像
10月23日	市役所南庁舎 南51会議室	・森づくりの目的と森林区分、目標とする森林像 ・森林施業の長期的方針～人工林の健全化とその維持について～
3月12日	豊田市職員会館 第一会議室	・構想・基本計画策定のスケジュール ・「森林管理の基本方針」のまとめ ・豊田市の木材利用の取組と現状

Ⅳ　広報業務

1　講演、視察受入等の森づくり推進活動

　森づくりに関する条例・構想・基本計画の策定や本市の独自施策に対して、各方面から講演や視察等の依頼がありました。

〈講演等の概要（令和6年度）〉

開催月	主催・イベント等名称	テーマ
6月	矢作川水系森林ボランティア協議会 20周年シンポジウム	「豊田市の森づくり」 ～豪雨から始まった市民の森づくり～
9月	FORESTRISE 第4回次世代産業展	「民有林管理に対して市町村はどこまで施策がやれるのか」 ～豊田市森林課の2005年現在までの挑戦～
10月	第12回　林業Iターン・ミーティング Woodman Workshop LLC.	「豊田市における森林作業員の育成支援について」 事例紹介
1月	掛川市財産区連絡協議会 視察研修	「豊田市の森づくり」「豊田市の木材利用の取組と現状」
2月	森林部の地籍調査に関する勉強会	「豊田市の森林部の地籍調査について」 事例紹介
3月	富山県西部森林組合 先進地域研究会	「豊田市と豊田森林組合で連携した森づくり」
3月	第4回フォレスター勉強会	「計画策定に求められる技術・知識とは ～テキストにない森林総合監理士の視点・技術～」 ～豊田市の森づくりを例に～

〈印刷物等の概要（令和6年度）〉

掲載月	印刷物等の名称	タイトル等	発行者
3月	『現代林業』 4月号レポート	ワンストップで森林所有者の悩みを解決 ～豊田市に学ぶ　森林所有者向け相談のポイント～	全国林業改良普及協会

〈テレビ番組等の放映の概要（令和6年度）〉

放映日	番組タイトル	放映概要
4月19日	豊田市政番組「とよたNOW」	高性能林業機械の実演見学会を開催
8月15日	豊田市政番組「とよたNOW」	林業体感・見学ツアーを開催
10月21日	豊田市政番組「とよたNOW」特集	豊田市の森づくりの取組 10月は「とよた森づくり月間」
10月23日	豊田市政番組「とよたNOW」	森づくり月間イベント 「森Thank You～マジ森～」を開催
3月21日	豊田市政番組「とよたNOW」	令和6年度　豊田市森づくり成果報告会

2　森林環境譲与税を活用した取組

災害防止や温室効果ガスの削減につながる森林整備に必要な財源を確保する目的から森林環境税・森林環境譲与税が国で創出されました。森林環境譲与税については、令和元年度から配分されており、当年度においては以下のとおり活用しました。

〈森林環境譲与税を活用した取組（令和6年度）〉　（単位：円）

活用区分	事業名	内容	実績	事業費	うち譲与税充当額
森林整備	間伐促進事業	個人所有の人工林の切置き間伐等に対する補助	間伐面積 135.38ha	75,239,000	75,239,000
	間伐材搬出路網開設費補助金	間伐材を搬出するため、搬出路の整備に要する経費の補助	作業道整備延長 636m 搬出路整備延長 44,287m	49,026,000	47,404,313
	森づくり推進組織育成事業	個人所有の人工林を間伐するためにとりまとめを行う（森づくり団地化）組織に対する交付金	団地認定面積 1,048.03ha	41,921,200	41,921,200
	高性能林業機械導入費補助金	高性能林業機械の新規導入に係る経費に対する補助	フォワーダ１台導入	4,300,000	4,300,000
	モニタリング調査事業	間伐効果の検証や効果的な間伐手法を検討するための調査の実施	23か所	4,070,000	4,070,000
人材育成	新規就業者育成推進事業	豊田森林組合の森林作業員の新規採用と育成に対する補助	林業大学校 6人	19,234,000	18,634,000
	人材育成事業	豊田森林組合が実施する森林作業員の基礎技術研修に対する負担金	新規採用職員技術研修、林業・体感見学ツアー	2,500,000	2,500,000
木材利用	テナント店舗等 木質化モデル創出事業	地域材を活用した店舗等の木質化に対する補助	1件	1,785,000	1,785,000
	管理備品整備事業（小学校）	小学校における地域材の机・椅子の導入	(新規)机：357台 椅子：462脚 (修繕)机：380台 椅子：500脚	13,186,250	3,850,000
	管理備品整備事業（中学校）	中学校における地域材の机・椅子の導入	(新規)机：555台 椅子：427脚 (修繕)机：285台 椅子：722脚	15,508,405	4,150,000
普及啓発	森林環境教育活動事業	とよた森林学校	11講座、32回開催、183人参加	9,870,487	8,912,487
合計				236,640,342	212,766,000

第３章　決算

歳入　　（単位：千円）

項　目		R6	R5	差
(1)	森林環境譲与税	212,766	163,924	48,842
(2)	林業費負担金	419	375	44
(3)	林業使用料	105	66	39
(4)	林業費補助金	164,833	165,524	△691
(5)	林業費委託金	90,963	88,649	2,314
(6)	土地建物貸付収入	13,705	13,576	129
(7)	利子及び配当金	1,782	721	1,061
(8)	物品売払収入	－	66	△66
(9)	生産物売払収入	6,186	－	6,186
(10)	農林水産事業費寄附金	4,000	1,000	3,000
(11)	基金繰入金	－	－	－
(12)	雑　入	28,098	29,556	△1,458
合計		522,857	463,457	59,400

歳出　　（単位：千円）

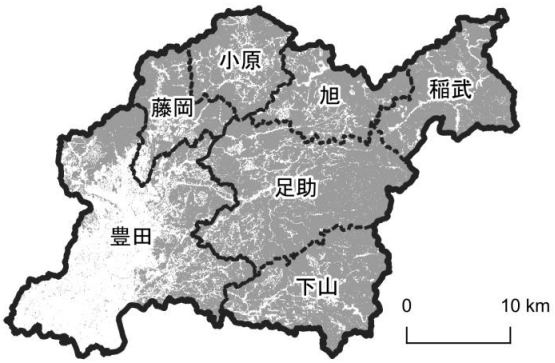
項　目		R6	R5	差
(1)	林業振興事務費	17,631	11,312	6,319
(2)	市有林管理費	25,087	12,514	12,573
(3)	林業労働力対策費	19,234	42,934	△23,700
(4)	矢作川水源林対策費	48,129	60,396	△12,267
(5)	森林会館費	14,000	14,110	△110
(6)	林道開設費	42,406	37,105	5,301
(7)	林道舗装費	47,126	68,947	△21,821
(8)	林道改良費	105,467	149,767	△44,300
(9)	林道修繕費	58,078	62,788	△4,710
(10)	水源環境林整備費	－	14,803	△14,803
(11)	森林整備市民活動費	752	733	19
(12)	間伐材搬出利用促進費	49,605	39,188	10,417
(13)	間伐促進事業費	75,239	39,800	35,439
(14)	高性能林業機械施業促進費	6,611	34,907	△28,296
(15)	森づくり推進費	149,393	106,955	42,438
(16)	とよた森林学校費	－	－	－
(17)	林道維持管理費	51,013	48,305	2,708
(18)	人件費	293	296	△3
(19)	林道整備調査費	1,321	1,458	△137
(20)	林道橋りょう維持管理費	20,898	15,785	5,113
(21)	地域材利用拡大推進費	9,005	19,295	△10,290
(22)	森林環境教育推進費	14,727	14,435	292
(23)	地籍調査費	1,273	－	1,273
計		757,288	795,833	△38,545
(24)	林道施設現年災害復旧事業費	15,061	109,796	△94,735
(25)	林業施設過年災害復旧事業費	－	－	－
計		15,061	109,796	△94,735
(26)	水道水源保全費	89,652	71,904	17,748
計		89,652	71,904	17,748
合計		862,001	977,533	△115,532

参考

Ⅰ　豊田市における森林・林業の現況

1　豊田市の森林の現状（令和6年度）

〈豊田市の森林位置図〉



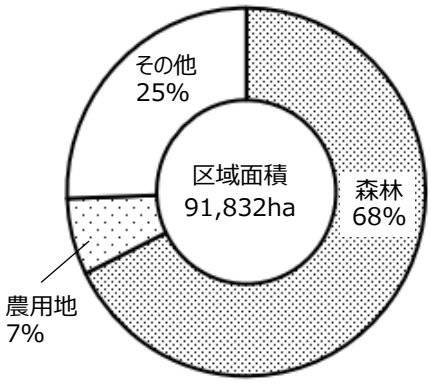
〈豊田市の土地利用別面積〉　(単位：ha)

区分		面積
区域		91,832
森林	総数	62,193
	国有林	1,270
	民有林	60,893
農用地		6,170
その他		23,469

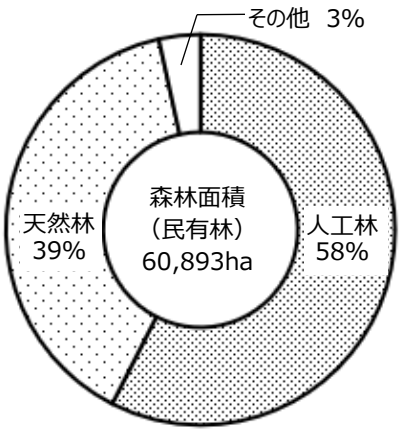
資料：愛知県林務課、農林水産省

注　ha未満は四捨五入。従って内訳と計は必ずしも一致しない。

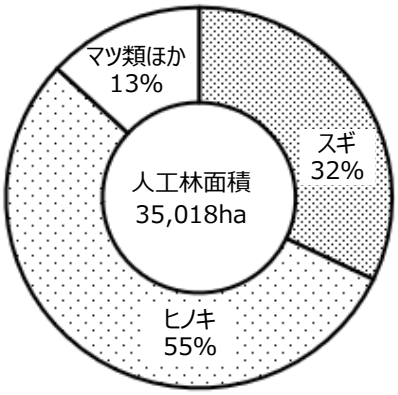
〈豊田市の森林率〉



〈豊田市の人工林率(民有林)〉



〈人工林の樹種別割合〉



注　豊田市の人工林率、樹種別割合は地域森林計画対象民有林の値。

資料：愛知県林務課

〈豊田市の地域毎の森林率と人工林率〉　（単位：ha・%）

			区域面積 A	森林面積 B	森林率 B/A×100	森林のうち人工林 C	人工林率 C/B×100
豊田市			91,832	62,193	68	–	–
	うち民有林		–	60,923	–	35,023	57
		うち地域森林計画対象民有林	–	60,893	–	35,018	58
		豊田	29,011	9,775	34	2,745	28
		藤岡	6,558	4,661	71	1,673	36
		小原	7,454	5,515	74	2,425	44
		足助	19,312	16,180	84	9,840	61
		下山	11,418	9,530	83	7,041	74
		旭	8,216	6,687	81	4,648	70
		稲武	9,863	8,544	87	6,646	78

資料：愛知県林務課

〈豊田市の地域森林計画対象民有林における林種別面積及び蓄積〉　（単位: ha・m^3・m^3/年）

		面積	蓄積	成長量
立木地	人工林	35,018	10,957,663	106,338
	天然林	23,782	3,233,757	10,283
竹林		1,139		
無立木地		954		
合計		60,892	14,191,420	116,621

資料：愛知県林務課

〈豊田市の地域森林計画対象民有林の人工林における林種別面積及び蓄積〉　（単位: ha・m^3・m^3/年）

		面積	蓄積	成長量
針葉樹	スギ	11,228	5,084,302	47,674
	ヒノキ	19,186	4,935,758	53,059
	マツ類	4,369	899,471	5,292
	その他	86	22,247	192
広葉樹		149	15,885	121
合計		35,018	10,957,663	106,338

資料：愛知県林務課

2　木材価格の変化と木材生産量

〈豊田市内木材生産量〉　　（単位：m^3）

年	市内木材生産量	うち豊田森林組合の取扱量	うち利用間伐の取扱量
H17	23,700	13,811	11,049
H18	24,300	14,689	8,000
H19	23,218	16,495	12,899
H20	28,900	17,660	14,035
H21	29,400	18,553	14,535
H22	33,390	18,969	16,121
H23	32,484	21,141	15,988
H24	37,399	18,704	14,700
H25	33,818	22,962	18,403
H26	39,390	26,305	19,096
H27	48,316	27,764	21,146
H28	44,827	22,392	16,006
H29	38,259	23,712	20,235
H30	51,188	33,299	27,978
R1	54,129	33,925	31,804
R2	66,438	31,532	30,954
R3	66,150	33,126	30,581
R4	52,881	32,647	30,836
R5	56,724	39,561	35,488
R6	集計中	37,886	34,690

注　市内木材生産量は年次数値、それ以外は年度数値。　　資料：愛知県林務課及び豊田森林組合

〈豊田原木流通センターの木材取扱量と平均単価〉　　（単位：m^3・円/m^3）

年度	スギ		ヒノキ		スギ+ヒノキ+その他樹種	
	木材取扱量	平均単価	木材取扱量	平均単価	木材取扱量	平均単価
H17	3,268	10,030	4,254	19,981	8,086	15,886
H18	4,228	10,300	6,588	20,590	11,154	16,458
H19	6,437	9,192	6,220	19,087	13,037	13,713
H20	5,889	9,193	7,494	17,862	13,643	13,974
H21	6,872	9,171	6,903	15,337	14,115	12,453
H22	8,179	9,856	8,559	15,379	15,726	13,513
H23	6,769	8,290	7,601	12,806	16,738	12,680
H24	7,942	10,420	7,496	16,981	15,083	10,422
H25	5,344	9,492	7,986	15,736	14,167	12,403
H26	5,527	10,060	6,769	14,568	12,583	12,314
H27	4,529	9,052	7,295	13,423	12,309	11,492
H28	4,517	9,729	3,792	11,900	8,608	10,570
H29	2,250	9,764	5,551	12,529	9,868	10,473
H30	7,451	10,578	8,223	13,125	20,257	10,578
R1	12,843	9,963	10,596	12,203	30,475	9,807
R2	12,340	8,998	11,566	10,713	33,604	8,512
R3	10,853	12,063	10,250	17,758	30,405	12,217
R4	9,745	13,363	11,068	17,825	29,812	13,104
R5	11,230	12,553	10,092	14,682	33,483	－
R6	10,460	12,665	11,666	15,944	35,368	12,081

資料：愛知県森林組合連合会及び豊田森林組合

Ⅱ　森づくりの担い手「豊田森林組合」の現状

1　組織

〈組合員の状況〉　（単位：人）

年度	正組合員	准組合員	合計
H17	8,623	6	8,629
H18	8,618	6	8,624
H19	8,620	6	8,626
H20	8,623	6	8,629
H21	8,614	6	8,620
H22	8,555	6	8,561
H23	8,545	8	8,553
H24	8,539	8	8,547
H25	8,536	8	8,544
H26	8,526	8	8,534
H27	8,494	8	8,502
H28	8,463	8	8,471
H29	8,445	8	8,453
H30	8,415	8	8,423
R1	8,392	13	8,405
R2	8,364	16	8,380
R3	8,333	16	8,349
R4	8,289	18	8,307
R5	8,229	18	8,247
R6	8,182	18	8,200

〈常勤の役職員数〉　（単位：人）

年度	常勤役員数	常勤職員数
H17	2	52
H18	2	52
H19	2	51
H20	2	48
H21	1	50
H22	1	50
H23	1	51
H24	1	51
H25	1	46
H26	1	49
H27	2	51
H28	2	52
H29	2	50
H30	2	45
R1	2	44
R2	2	87
R3	1	91
R4	1	92
R5	1	91
R6	2	95

注　森林作業員の職員化(R2～）。

資料：豊田森林組合第20回通常総代会資料

〈豊田森林組合森林作業員の年齢別構成表〉　　（単位：人）

年度	～29歳	30～39歳	40～59歳	60歳～	合計
H17					102
H18					103
H19					103
H20					102
H21					112
H22					117
H23					121
H24					112
H25					96
H26					88
H27					81
H28					75
H29					80
H30					61
R1					61
R2	4	11	31	12	58
R3	2	10	29	10	51
R4	5	9	30	8	52
R5	8	7	29	10	54
R6	10	7	27	11	55

資料：豊田森林組合

注1　森林作業員とは、主に森林整備作業または林産事業に従事する者。
　2　年齢構成はR2より集計。

2　事業活動

〈販売部門〉　　(単位：m^3・千円 (税抜))

項　目		取扱量	売 上	項　目		取扱量	売 上
販売事業	受託	1,598	16,672	林産事業	受託	32,134	372,379
	買取	865	7,090		買取	–	–

資料：豊田森林組合第20回通常総代会資料

〈加工部門〉　　(単位：千円(税抜))

項　目	取扱額	項　目	取扱額	項 目	取扱額
加工製品	37,901	チップ	–	工作物	–
杭ほか	–	賃挽き	–		

資料：豊田森林組合第20回通常総代会資料

〈森林整備部門〉　　(単位：千円(税抜))

項 目		売 上
森林整備	森林整備・治山・林道・作業路等	680,506
利用事業	調査・とよた森林学校・森林整備支援交付金等	100,517
購買事業	苗木・肥料・チェーンソー等	34,690

資料：豊田森林組合第20回通常総代会資料

〈とよた森林学校〉　　(単位：千円(税抜))

項 目	委託額
とよた森林学校運営業務委託	9,870

Ⅲ　令和６年度の産業部森林課の組織と主な業務

森林課
課　長（1 人）
副課長（1 人）
副主幹（1 人）

森づくり推進担当 （6 人） 会計任用（1 人）	間伐促進に関すること 団地化に関すること あいち森と緑づくり事業に関すること 矢作川水源基金助成事業に関すること 水源環境保全林事業に関すること 水道水源保全・特別区域事業に関すること 森林環境譲与税に関すること 原木集荷体制に関すること（需給調整会議） 森林 GIS の運営・管理に関すること 林地台帳の運用に関すること 森林経営計画の認定に関すること 森林組合経営方針に関すること 高性能林業機械に関すること 人材育成に関すること 森づくり白書に関すること スマート林業（ICT）に関すること 地域と一体となった森づくりに関すること 林業経営体の経営支援 地籍調査に関すること 家裏危険木（支障木）伐採支援に関すること 新たな森林管理のあり方に関すること　※企画担当と合同
森づくり企画担当 （5 人）	森づくり構想・計画・市森林整備計画に関すること 間伐・水源かん養モニタリングに関すること 市有林の管理・施業に関すること （一社）ウッディーラー豊田に関すること 地域材流通体制構築に関すること 木質化モデル創出補助金に関すること 公共建築物での地域材利用促進に関すること Tomori（総合サイト）の運用に関すること 森林学校・出前講座に関すること 森林課施設・財産管理に関すること 伐採届に関すること 造林検査に関すること 違法伐採の指導・観察に関すること 森林保全ガイドラインの運用に関すること 森林ボランティアの支援に関すること 森づくり委員会に関すること 新たな森林管理の在り方に関すること　※推進担当と合同 森林環境教育・流域学習に関すること 中核製材工場用地管理に関すること
林道担当 （5 人） 会計任用（1 人）	路網整備（林道・作業道）に関すること 災害対応に関すること 林道設計 ICT 化に関すること 林道使用許可に関すること 林道維持管理（パトロール委託）に関すること 治山事業に関すること 亜炭鉱に関すること

付　表　一　覧

付表 1　地域森づくり会議設置・団地認定状況（地区別・年度別）----------32
付表 2　森づくり団地認定状況（令和6年度）----------33
付表 3　あいち森と緑づくり森林整備事業（人工林）等の候補地とりまとめ状況----------34
付表 4　森林経営計画認定件数及び面積----------34
付表 5　間伐実施面積（年度別）----------35
付表 6　市間伐補助事業一覧表----------37
付表 7　年度別「豊田市森林GIS保守・運用業務」事業費----------38
付表 8　高性能林業機械導入事業----------38
付表 9　高性能林業機械施業促進事業----------39
付表10 矢作川水源林対策事業【作業道】開設事業（令和6年度豊田森林組合施工）----------39
付表11 間伐材搬出路網【作業路】開設事業（令和6年度豊田森林組合施工）----------40
付表12 間伐材搬出路網（令和6年度豊田森林組合施工）----------40
付表13 間伐材搬出路網（令和6年度自力施工）----------40
付表14 中核製材工場稼働実績----------41
付表15 市公共事業の地域材使用量----------41
付表16 豊田市内の主要な木材利用公共施設----------41
付表17 緑の雇用担い手対策事業に係る人材育成実績----------42
付表18 新規就業者育成支援事業に係る人材育成実績----------42
付表19 森づくり団地化推進員設置状況等----------42
付表20 とよた森林学校講座受講者数----------43
付表21 出前講座の開催----------45
付表22 森林ボランティア始動支援事業----------45
付表23 森林ボランティア安全対策事業----------46
付表24 伐採及び伐採後の造林の届出の件数と面積----------47
付表25 森林の土地の所有者届出書の件数と面積----------47
付表26 豊田市森林会館の利用件数と利用者数----------48
付表27 市有林で実施した作業の実績----------48
付表28 市有林の素材販売実績----------49
付表29 豊田市林道一覧（令和6年度）----------49
付表30 林業専用道（規格相当）開設事業（令和6年度市施工）----------50
付表31 林道開設事業（令和6年度市施工）----------50
付表32 過疎山村地域代行林道整備事業（愛知県施工）----------50
付表33 林業用路網の開設延長----------51
付表34 林道改良及び舗装実績----------51
付表35 林道改良事業（令和6年度市施工）----------52
付表36 林道舗装事業（令和6年度市施工）----------52
付表37 市管理林道の修繕実績----------53
付表38 市有林界確定測量業務----------54

付表 1 地域森づくり会議設置・団地認定状況（地区別・年度別）　　（単位：会議・団地・ha）

年度		豊田	小原・藤岡	足助	下山	旭	稲武	合計
H19	会議数	—	—	1	9	4	1	15
	団地数	—	—	—	—	—	—	—
	面積	—	—	—	—	—	—	—
H20	会議数	2	2	11	7	3	2	27
	団地数	2	1	4	4	4	5	20
	面積	16.45	7.10	43.33	82.24	48.64	110.26	308.02
H21	会議数	2	2	6	—	6	3	19
	団地数	2	2	8	18	10	8	48
	面積	43.67	28.69	141.32	245.26	140.82	182.70	782.46
H22	会議数	—	1	2	1	3	2	9
	団地数	2	3	13	25	9	11	63
	面積	17.06	64.90	244.71	402.82	127.32	251.02	1,107.83
H23	会議数	—	1	1	—	1	2	5
	団地数	2	2	16	13	11	13	57
	面積	19.21	28.23	265.37	282.18	169.16	402.51	1,166.66
H24	会議数	—	1	1	—	—	3	5
	団地数	—	—	11	13	9	12	45
	面積	—	—	198.75	320.24	208.57	345.26	1,072.82
H25	会議数	—	—	1	—	1	—	2
	団地数	1	1	15	15	12	12	56
	面積	18.45	15.91	262.77	342.63	204.59	385.25	1,229.60
H26	会議数	—	3	2	1	2	—	8
	団地数	1	—	11	13	10	12	47
	面積	16.25	0.13	180.42	317.89	202.85	372.79	1,090.33
H27	会議数	—	1	3	1	3	—	8
	団地数	1	3	12	9	4	13	42
	面積	22.39	33.05	288.37	310.36	124.58	275.63	1,054.38
H28	会議数	—	1	3	1	2	—	7
	団地数	1	3	15	9	8	12	48
	面積	12.28	51.85	334.49	367.59	166.29	313.10	1,245.60
H29	会議数	—	—	—	—	2	—	2
	団地数	—	3	16	8	11	10	48
	面積	—	42.92	244.00	277.84	257.64	275.96	1,098.36
H30	会議数	—	1	1	—	—	—	2
	団地数	—	3	7	6	8	12	36
	面積	—	29.98	209.41	180.54	189.41	302.79	912.13
R1	会議数	—	1	—	—	1	—	2
	団地数	—	1	9	13	11	10	44
	面積	—	25.31	208.56	333.41	194.24	299.76	1,061.28
R2	会議数	—	—	—	—	1	—	1
	団地数	1	1	11	9	7	9	38
	面積	17.33	15.43	292.09	321.95	144.47	313.04	1,104.31
R3	会議数	—	—	1	—	—	—	1
	団地数	1	2	6	10	6	10	35
	面積	17.92	27.10	240.34	312.62	163.35	337.63	1,098.96
R4	会議数	—	—	—	—	1	—	1
	団地数	—	4	8	12	9	12	45
	面積	—	62.23	221.86	332.12	180.42	311.20	1,107.83
R5	会議数	—	2	—	—	—	—	2
	団地数	—	2	10	10	6	11	39
	面積	34.82	66.89	264.17	287.00	171.03	297.29	1,121.20
R6	会議数	—	2	1	3	—	—	6
	団地数	—	5	9	9	8	13	44
	面積	—	101.31	258.00	216.13	200.42	272.17	1,048.03
合計	会議数	4	18	34	23	30	13	122
	団地数	14	36	181	196	143	185	755
	面積	235.83	601.03	3,897.96	4,932.82	2,893.80	5,048.36	17,609.80

付表 2 森づくり団地認定状況（令和6年度）

（単位：ha）

地区	会議名	団地名	認定面積
藤岡	西市野々	西市野々第３	7.40
	藤岡飯野	田ノ平・獅子岩	(追)1.10
	折平	西屋敷第１	33.70
	計	2 団地	42.20
小原	北篠平	隠ケ洞	11.95
	市場	宇頭・梅ケ元	27.48
		薮下・川向	19.68
	計	3 団地	59.11
足助	御内	亀割第３	(追)3.57
		山ノ中立町大沢	21.78
	西樫尾	板橋・越田和	5.76
	川面	上ノ平・堂平	18.34
	明川	向田中平	(追)1.46
		キノコキ・フセタ	25.07
	玉野	玉野	(追)1.02
	四ツ松	本平・山口・河西	(追)3.95
		鶚子	7.37
	怒田沢	田ノ口	(追)10.22
		奥山	24.48
	葛沢	黒内	30.89
	大多賀	下平	75.36
	連谷	肉平	28.73
	計	9 団地	258.00
下山	羽布	大道・広見・鬼ノ平	(追)1.97
		地獄谷	8.11
	阿蔵	保戸嶋	(追)0.51
		北ノ平西	(追)1.04
		猫取	50.42
	梶	一ノ瀬・蓬生	31.98
	田平沢	外山中	(追)1.49
		月ノクゾ・野登岩	14.16
	黒坂	大空第２	(追)4.42
		奥山中	27.96
	梨野	アライダシ西	(追)1.13
	栃立	作六	15.98
	大沼	松畑・羽山田	27.79

地区	会議名	団地名	認定面積
下山	大沼	滝坂・林畔	10.18
		七ツ石・小洞・長部	18.99
	計	9 団地	216.13
旭	榊野	万根南	(追)0.33
		油ノ木	22.21
	小滝野・閑羅瀬	槙平・東畑	24.28
		平瀬	11.40
	旭八幡	旭八幡岡	26.95
	小渡	間ケ島他	52.10
	東萩平	東萩平第２	(追)3.10
	伊熊	伊熊第４	(追)0.27
	笹戸・市平	市平南	4.64
	坪崎	ヒカゲ	27.04
	余平	大畑・小松	28.10
	計	8 団地	200.42
稲武	小田木	川入	23.27
		大下	13.37
		シッタキ沢	3.47
	大野瀬	タイラ・ナカガイト	(追)4.63
		シラソレ・スミヤキ	10.95
		ホンボラグチ・オイワケ	20.02
		タイラ林	5.19
	押山	堀田・平林	(追)0.91
		平林	(追)0.36
	野入	貝曲り・丸根・トヲノス・下モ平	(追)0.02
	稲橋	井山 88	35.35
		井山 87	25.57
	黒田	折坂・曽根・仲田・道上	29.20
		井戸入・高ススキ	32.76
		上手・上ケ平	22.47
	川手	シロノ上・ヒカシ	(追)2.74
		ウトウ南(分収林)	16.28
		イロ山(分収林)	25.61
	計	13 団地	272.17
合計		44 団地	1,048.03

注 (追)は、既設の団地に追加したもの。団地数にはカウントしない。

付表 3 あいち森と緑づくり森林整備（人工林）等の候補地とりまとめ状況　（単位：ha）

年度	あいち森と緑づくり森林整備事業（人工林）	保安林本数調整伐事業
H21	100.78	
H22	316.93	
H23	403.36	
H24	569.29	
H25	514.08	
H26	266.72	
H27	314.02	
H28	328.06	
H29	186.73	23.33
H30	193.27	16.74
R1	354.40	23.54
R2	481.72	22.33
R3	497.45	23.91
R4	382.14	20.02
R5	350.63	41.08
R6	352.95	41.07
合計	5612.53	212.02

付表 4 森林経営計画認定件数及び面積　(単位：件･ha)

年度	件数	面積
H25	14	669.16
H26	9	305.87
H27	9	365.41
H28	10	565.78
H29	10	1532.74
H30	6	331.46
R1	7	381.49
R2	14	481.32
R3	11	417.92
R4	7	1191.99
R5	2	118.24
R6	6	190.56

付表 5 間伐実施面積（年度別）

区分		H17	H18	H19	←第1次計画期間→						←第2次	
					H20	H21	H22	H23	H24	計	H25	H26
県事業	保安林本数調整伐	347	346	421	319	234	228	167	83	1,031	97	76
	あいち森と緑づくり				5	205	416	436	506	1,568	581	391
	計	347	346	421	324	439	644	603	589	2,599	677	467
市事業	間伐促進 国県補助 市上乗せ	418	449	403	431	456	266	113	127	1,393	80	119
	間伐促進 市単独	—	—	—	—	—	—	—	—	—	25	106
	間伐促進 水道水源林											
	矢作川水源林対策	109	215	216	197	218	157	163	139	874	155	119
	水源環境保全林	64	110	76	97	99	33	30	24	283	20	20
	巻枯らし等補助事業	—	—	—	—	—	6	6	2	14	—	—
	水道水源特別区域森づくり	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	591	774	695	725	773	462	312	292	2,564	280	364
その他(国県補助 市上乗せなし)		—	10	8	6	34	21	24	91	176	14	10
その他(ボランティアなど)											23	56
第３次基本計画対象間伐面積		938	1,130	1,124	1,055	1,246	1,127	939	971	5,339	995	897
計画対象外	市有林施業	34	20	35	108	100	56	75	65	404	39	31
	県分収林	254	151	106	87	108	179	322	44	740	74	83
	県有林	43	47	14	26	23	42	46	32	169	30	45
	計	331	218	155	221	231	277	443	141	1,313	143	159
市内間伐実績面積		1,269	1,348	1,279	1,276	1,477	1,404	1,382	1,112	6,652	1,138	1,056

注 1 間伐促進事業（国県補助 市上乗せ）は、造林事業の上乗せ補助分。（市単独）は、市一般会計で（水道水源林）は水道水源保全特別会計の市単独補助事業。

2 市有林事業に市外に所在する市有林（黒田湖畔段戸記念林及び学校部分林）の実績は含まない。

3 その他は、国県補助又は単独で実施した間伐で市の上乗せ等の補助を受けていないもの。ボランティア等、平成30年度集計から除外した。

4 ha未満は四捨五入。従って内訳と計は必ずしも一致しない。

計画期間→				←第3次計画期間→						←第4次→		合計
H27	H28	H29	計	H30	R1	R2	R3	R4	計	R5	R6	
79	83	76	411	39	48	39	41	34	202	48	46	2,853
356	431	408	2,167	414	299	381	408	372	1,873	318	191	6,117
435	515	484	2,578	453	347	420	449	407	2,076	366	237	8,970
91	118	108	516	51	36	98	9	0	194	5	0	3,548
49	67	0	247	208	89	132	82	91	601	79	135	1,062
100	75	86	261	86	79	83	98	94	441	86	81	869
89	174	204	741	40	100	45	57	44	285	90	79	2,609
20	19	12	91	10	12	32	52	55	162	19	0	804
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	–	14
—	—	—	—	—	22	30	40	23	115	24	37	176
348	452	410	1,854	395	338	421	337	308	1,799	303	332	8,912
10	13	75	122	112	136	78	156	165	648	168	170	1,558
51	67	(44)	197	(50)	(48)	(102)	(40)	(8)	(240)	28	30	
845	1,046	968	4,751	960	821	919	943	880	4,523	866	770	18,871
15	1	1	87	14	8	6	2	7	36	13	7	659
33	65	99	354	63	38	23	41	27	193	37	36	1,870
20	20	31	146	32	32	0	45	32	141	28	16	604
68	86	131	587	109	78	29	88	66	370	78	59	3,130
913	1,132	1,099	5,338	1,069	900	948	1,030	946	4,893	944	829	22,668

付表 6 市間伐補助事業一覧表

<table>
<tr><th>事業名</th><th>作業種</th><th>補助対象経費</th><th>間伐率</th><th>補助率</th></tr>
<tr><td rowspan="5">間伐促進事業
（市単独）
（水道水源林）
（国県補助
市上乗せ有）</td><td rowspan="4">切置き間伐</td><td rowspan="4">愛知県の定める森林造成等補助金交付要綱、造林事業実施要領及び小規模森林育成事業実施要領に準じて行う間伐実施に要する経費</td><td>30%以上</td><td>9/10以内</td></tr>
<tr><td>団地内30～40%
（1,000本/ha以上から
1,000本未満となる場合）</td><td rowspan="3">10/10以内</td></tr>
<tr><td>団地内40～60%</td></tr>
<tr><td>針広混交林誘導林
40～60%</td></tr>
<tr><td>利用間伐</td><td>団地内30%以上</td><td>5/10以内</td></tr>
<tr><td>間伐材生産</td><td>愛知県の定める林業振興対策事業補助金のうち次世代林業基盤づくり事業に基づき実施する間伐材生産に要する経費</td><td>団地内30%以上</td><td>利用間伐と
同額</td></tr>
<tr><td rowspan="6">矢作川水源林
対策事業</td><td>除伐</td><td rowspan="6">(公財)矢作川水源基金が定める水源林地域対策事業業務方法書及び水源林対策事業助成金交付要領に準じて行う間伐に要する経費</td><td>10%以上</td><td>4/10以内</td></tr>
<tr><td rowspan="4">切置き間伐</td><td>20～30%</td><td>6/10以内</td></tr>
<tr><td>30%以上</td><td>9/10以内</td></tr>
<tr><td>団地内30～40%
（1,000本/ha以上から
1,000本未満となる場合）</td><td rowspan="3">10/10以内</td></tr>
<tr><td>団地内40%以上</td></tr>
<tr><td>針広混交林40%以上</td></tr>
<tr><td>利用間伐</td><td>20%以上</td><td>6/10以内</td></tr>
</table>

付表 7 年度別「豊田市森林GIS保守・運用業務」事業費　(単位：千円)

年度	事業費	事業内容
H19	2,993	森林GISシステムの基本設計
H20	9,765	基本システムの導入及び業務支援システムの詳細設計
H21	29,715	団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの開発導入
H22	2,699	団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新
H23	4,014	団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新 市町村森林整備計画の改正に係るゾーニングの資料作成
H24	4,250	団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新
H25	3,720	団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新
H26	3,348	団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新
	19,440	運用環境の再構築、必要な機器・ソフトウェア調達及びプログラム調整
H27	4,129	団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新
	17,280	森林整備対象の人工林抽出、過密人工林の特定、森林情報の整備（豊田・藤岡・小原・足助）
H28	3,672	団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新
	20,520	森林整備対象の人工林抽出、過密人工林の特定、森林情報の整備（旭・稲武・下山）
H29	5,512	団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新
H30	6,806	林地台帳構築、団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新
R1	4,071	団地化業務、林地台帳、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新 （H30年度に愛知県が実施した航空レーザ計測成果の搭載を令和元～2年度に実施）
R2	3,549	
R3	3,630	
R4	15,950	仮想サーバー上でのリプレイス、団地化業務、林地台帳、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新
R5	2,662	団地化業務、林地台帳、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新
R6	4,720	団地化業務、林地台帳、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新

付表 8 高性能林業機械導入事業　(単位：千円)

年度	補助金額	対象機種	林業事業体
H23	－	－	－
H24	－	－	－
H25	－	－	－
H26	－	－	－
H27	－	－	－
H28	－	－	－
H29	－	－	－
H30	17,385	プロセッサ1台 フォワーダ1台 スイングヤーダ1台	豊田森林組合
R1	－	－	－
R2	－	－	－
R3	3,870	フェラーバンチャ	豊田森林組合
R4	13,200	プロセッサ1台 フォワーダ1台 スイングヤーダ1台	西垣林業フォレスト（株）
R5	32,620	タワーヤーダ1台	豊田森林組合
R6	4,300	フォワーダ１台	丸兼林業（有）

付表 9 高性能林業機械施業促進事業　　(単位：千円)

年度	リース			レンタル		補助金額合計
	補助金額	対象機種	林業事業体	補助金額	林業事業体	
H23	–	–	–	999	豊田森林組合	999
H24	–	–	–	926	豊田森林組合	926
H25	–	–	–	922	豊田森林組合	922
H26	–	–	–	507	豊田森林組合	507
H27	–	–	–	706	豊田森林組合	706
H28	–	–	–	1,055	豊田森林組合	1,055
H29	–	–	–	1,055	豊田森林組合	1,055
H30	–	–	–	1,405	豊田森林組合	1,405
R1	–	–	–	1,406	豊田森林組合	1,406
R2	–	–	–	1,456	豊田森林組合	1,456
R3	420	プロセッサ1台	豊田森林組合	516	豊田森林組合	936
R4	1,362	プロセッサ2台 フォワーダ1台	豊田森林組合	630	豊田森林組合	1,992
R5	1,763	プロセッサ2台 フォワーダ1台	豊田森林組合	524	豊田森林組合	2,287
R6	1,763	プロセッサ2台 フォワーダ1台	豊田森林組合	548	豊田森林組合	2,311

付表 10 矢作川水源林対策事業【作業道】開設事業（令和6年度豊田森林組合施工）　　(単位：m･千円)

地区	路線名称	延長	幅員	事業費	水源基金	市補助金	受益者負担
下山	高ノ田･寺田線	529	3.0	5,131	2,962	1,950	219
合計		529		5,131	2,962	1,950	219

注　測量設計費は別途補助(千円/m)。事業費には含まない。

付表11 間伐材搬出路網【作業道】開設事業（令和6年度豊田森林組合施工） (単位：m･千円)

地区	路線名称	延長	幅員	事業費	市補助金	受益者負担
足助	赤田和線	636	3.0	6,464	6,169	295

注 測量設計費は別途補助(千円/m)。事業費には含まれない。

付表 12 間伐材搬出路網（令和6年度豊田森林組合施工） (単位：m･千円)

地区	路線名称	延長	事業費	市補助金	受益者負担
小原	苅萱念仏坂団地	1,950	2,925	1,950	975
足助	五反田ササダ団地	999	1,498	999	499
	四ツ松十明山団地	1,949	2,923	1,949	974
	御内大洞共有団地	2,664	3,996	2,664	1,332
	大和細田団地	2,071	3,106	2,071	1,035
下山	梨野大ブナ団地	1,971	2,956	1,971	985
	蘭第 1 団地①	1,861	2,791	1,861	930
	阿蔵北ノ平①団地	3,559	5,338	3,559	1,779
	阿蔵北ノ平②団地	1,744	2,616	1,744	872
	阿蔵保戸嶋団地	3,601	5,401	3,601	1,800
	立岩社端団地	2,967	4,450	2,967	1,483
	羽布赤狐子団地	2,961	4,441	2,961	1,480
	蘭分里団地	2,813	4,219	2,813	1,406
	梨野大根西団地	2,940	4,410	2,940	1,470
	大沼切山団地	1,007	1,510	1,007	503
旭	太田殿貝戸団地	2,062	3,093	2,062	1,031
稲武	稲橋大クゴ団地	1,024	1,536	1,024	512
	押山峰山団地	616	924	616	308
	黒田笹形	1,107	1,661	1,107	553
	黒田二本木	1,338	2,007	1,338	669
合計		41,204	61,806	41,204	20,602

注1 幅員は2.5m。
2 千円未満は切り捨て。よって事業費の合計は必ずしも一致しない。

付表 13 間伐材搬出路網（令和6年度自力施工） (単位：m･千円)

地区	施工場所	延長	事業費	市補助金	受益者負担
足助	東大見町地内	275	302	90	212
	東大見町地内	248	272	81	190
	大多賀町地内	324	356	106	249
下山	大沼町地内	539	592	177	415
	東大林町地内	385	423	127	296
稲武	富永町地内	1,312	1,443	432	1,010
合計		3,083	3,391	1,017	2,374

注1 幅員は1.5m、補助率は3/10以内。
2 千円未満は切り上げ。よって事業費の合計は必ずしも一致しない。

付表 14 中核製材工場稼働実績

(単位：m^3)

年度	市内からの供給量		工場の原木取扱量	
	実績値	目標値	実績値	目標値
H30	11,895	–	15,490	–
R1	22,671	19,200	31,760	30,000
R2	26,349	22,400	36,783	35,000
R3	25,075	25,600	43,764	40,000
R4	25,502	28,800	40,970	45,000
R5	29,260	28,800	37,565	45,000
R6	32,784	28,800	43,314	45,000

付表 15 市公共事業の地域材使用量

(単位：m^3)

年度	建設用資材	建築等用材	チップ材	合計
H17	129.32	272.46	15.30	417.08
H18	193.55	89.27	165.20	448.02
H19	271.73	217.04	0.24	488.76
H20	290.73	101.29	316.29	708.21
H21	80.32	19.06	1.84	101.22
H22	145.16	89.93	93.55	328.64
H23	72.77	34.03	0.00	106.80
H24	57.91	166.85	2,278.00	2,502.76
H25	501.35	104.36	25.40	631.11

年度	建設用資材	建築等用材	チップ材	合計
H26	42.70	45.39	67.70	155.79
H27	14.28	1,073.27	32.55	1,120.10
H28	9.84	39.75	0.00	49.59
H29	51.78	166.02	164.10	381.90
H30	41.80	73.30	0.00	115.10
R1	11.51	71.71	2.00	85.23
R2	33.25	191.52	0.00	224.77
R3	3.20	28.99	0.00	281.72

資料：技術管理課

注 令和3年度をもって集計が終了。

付表 16 豊田市内の主要な木材利用公共施設

(単位：m^3)

施設名	整備年度	木材使用量	備考
寿恵野こども園	H25	448	うち豊田市産材:258
浄水中学校＆交流館	H28	315	
寺部小学校	H28	1,040	うち豊田市産材:585
寺部こども園	H28	355	うち豊田市産材:144
前林交流館	H28	325	
藤岡支所＆交流館	R1	144	うち県産材:48
子育て支援センターあいあい	R1	23	うち豊田市産材:21
南部1次救急診療所	R2	232	うち県産材:13
高嶺こども園	R2	308	うち県産材:190、うち豊田市産材:135
松平地域体育館	R3	95	
朝日中学校増築棟	R3	81	うち県産材:42
豊田地域医療センター改修	R3	58	うち県産材:36、うち豊田市産材:24
どんぐりの里いなぶ屋根付き広場	R4	50.6	うち豊田市産材：12.9
どんぐり横丁（増築）	R4	–	新規導入商品陳列棚等44台の木部に使用
豊田市博物館	R5	656.897	うち豊田市産材:233.38

資料：森林課

付表　17　緑の雇用担い手対策事業に係る人材育成実績　　(単位：人)

年度	採用者数	在籍者数
H15	15	4
H16	10	3
H17	4	2
H18	6	1
H19	9	1
H20	12	2
H21	21	4
H22	10	1

年度	採用者数	在籍者数
H23	7	4
H24	3	0
H25	6	1
H26	6	4
H27	2	0
H28	4	3
H29	4	2
H30	6	2

年度	採用者数	在籍者数
R1	4	2
R2	3	2
R3	3	3
R4	5	4
R5	2	1
R6	2	2
合計	144	48

付表 18　新規就業者育成支援事業に係る人材育成実績　　(単位：人)

年度	採用者数	在籍者数
R2	3	2
R3	3	3
R4	3	3
R5	3	3
R6	3	3

付表　19　森づくり団地化推進員設置状況等　　(単位：人・円)

年度	人数	補助金額	新規就業者数[注]
H21	5	8,183	—
H22	6	9,711	1
H23	7	9,750	1
H24	7	10,786	2
H25	8	11,500	1
H26	8	11,966	3
H27	8	14,935	2
H28	8	17,971	1

年度	人数	補助金額	新規就業者数[注]
H29	8	17,971	1
H30	8	17,769	1
R1	8	17,974	—
R2	8	17,321	—
R3	8	21,623	—
R4	10	24,593	—
R5	9	24,038	—

注　団地化推進員を経て、豊田森林組合の職員又は作業員に就職した人数。

注　令和５年度をもって補助金は終了。

付表 20 とよた森林学校講座受講者数

講座名	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
山主森林経営講座	12	13	15	9	8	11	10	10	9	
楽しい山づくり入門講座										10
森林観察リーダー養成講座	9	11	15	15	10	9	13			
森林観察リーダー入門講座								13	10	10
森林ふれあい講座		15	9							
間伐ボランティア初級講座	20	20	20	19	18	20	20	19	20	17
間伐ボランティアフォローアップ講座										
多様な間伐理論を学ぼう！										
セミプロ林業作業者養成講座	10	10	7	12	12	10	10	11	12	11
間伐技術　ステップアップ講座	10	9	8	10	9					
山主自力間伐講座			9	9	18	12	12	11	12	7
森林（入門）セミナー	60	48	40	45	41	46	41	42	39	41
間伐してベンチをつくり寄付しよう	15	16	15	18	10	13	12	13	10	11
森林と災害										
矢作川源流の山を歩こう	25	20	20	25	20	22	21			
矢作川源流の森ウオーキング								22	19	21
原木きのこづくり(マイタケ＆ヒラタケ)	39	19	16							
原木きのこづくりⅡ	20	11	20							
楽しい森林ウオーキング										
木づかいいろいろ発見	29	18	24	20	20	20	21	21		
森あそび入門						11				
夏休み昆虫観察会	23	14	22				29	24	19	21
初めての樹木分類教室	20	49	20		27	25				
森の達人を訪ねて		23	21	20						
やってみよう！森の健康診断	20									
森林の草花調べ							22	20	22	22
森林の樹木調べ（入門コース）										
身近な樹木調べ										
初めての間伐体験				14	19	20	19	10		
レッツトライ　初めての間伐									11	
レッツトライ　木こり体験										14
山の日は木こり体験										
森づくりの日は木こり体験										
森づくりの日は森林ウオーキング										
どんぐり博士養成講座				22	22	20				
森林調査いろいろ学習会							16	18	10	
レッツトライ　森の健康診断										12
地域の森・健康診断										
森林の動物観察							20	19		
森と人の文化史									20	17
森林の不思議調べ									20	21
森が紡ぐ和のこころ										
自然の仕組み探検隊										
森づくりの基礎技術										
森の花を楽しもう										
森の巨木めぐり										
みんなで考える森の歴史とミライ										
山を持ったら知っておきたいこと 10 選										
合計	312	296	281	238	234	239	266	253	233	235

（単位：人）

H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
7	10	11	7	8	5			
								9
10	8	13	13	13	22	11	12	
12	13	18	16	20	18	18	18	16
								14
						14	11	13
10	7	8						
10	11	12	11					
40	43	43	38			25	16	19
12								
	19	14	19	9	9	14	10	14
21	20	21	21	15	17			
						10	17	20
27	15	26	19			13	13	15
22								
	20	21	17					
							19	
17	10	6						
8								
	15	19	17					
						19	24	
21	22	22	21					
21								
	21	17						
20	22	22		18				
				18				
								20
								22
								12
								23
258	256	273	199	101	71	124	140	197

資料：とよた森林学校実施報告書

付表 21 出前講座の開催　(単位：団体･回･人)

年度	申込み 団体数	延べ 開催数	延べ 参加者数
H18	15	39	1,017
H19	18	35	1,054
H20	16	52	1,433
H21	20	53	1,562
H22	17	34	902
H23	20	49	1,509
H24	27	54	1,971
H25	19	37	1,321
H26	22	37	962
H27	25	38	1,193
H28	23	42	1,154
H29	24	36	922
H30	21	35	864
R1	3	4	320
R2	5	14	310
R3	7	15	553
R4	20	31	953
R5	18	25	493
R6	16	20	258

付表 22 森林ボランティア始動支援事業　(単位：団体･人･円)

年度	団体数	構成員数	補助金 交付額
H17	2	35	210,467
H18	2	35	175,000
H19	3	45	200,000
H20	2	31	200,000
H21	2	34	200,000
H22	2	43	200,000
H23	2	43	200,000
H24	2	42	175,000
H25	2	36	125,000
H26	1	15	75,000
H27	1	17	75,000
H28	2	23	125,000
H29	2	19	125,000
H30	2	22	150,000
R1	2	24	150,000
R2	2	24	125,000
R3	1	14	50,000
R4	2	23	175,000
R5	2	27	175,000
R6	3	38	250,000

付表 23 森林ボランティア安全対策事業

(単位：団体･人･円)

年度	団体数	構成員数	補助金交付額
H18	2	44	204,486
H19	7	167	462,535
H20	6	107	277,730
H21	7	127	319,490
H22	7	124	316,675
H23	8	142	348,355
H24	8	164	373,065
H25	9	154	430,710
H26	10	157	424,870
H27	13	191	548,740
H28	12	174	530,115
H29	11	175	468,345
H30	13	187	543,790
R1	12	171	498,135
R2	12	169	491,705
R3	14	211	576,365
R4	15	218	545,000
R5	15	207	558,000
R6	14	195	502,000

注 補助率はボランティア保険料の1/2以内。

付表 24 伐採及び伐採後の造林の届出の件数と面積　（単位：件･ha）

年度	件数･面積						合計	
	主伐		うち転用		間伐		件数	面積
H17	44	11.56	106	57.81	660	729.42	704	740.98
H18	41	7.76	80	20.67	1,024	647.78	1065	655.54
H19	24	21.54	133	34.12	958	488.42	982	509.96
H20	119	98.07	63	18.92	652	611.97	771	710.04
H21	200	63.03	64	23.22	553	814.56	753	877.59
H22	235	48.16	65	22.49	557	854.06	792	902.22
H23	540	29.00	125	8.59	610	456.33	1,150	485.33
H24	1,527	169.63	1,005	133.72	179	60.91	1,706	230.54
H25	1,127	116.66	706	83.89	1,842	642.05	2,969	758.71
H26	210	41.17	73	14.72	249	560.10	459	601.27
H27	207	63.57	60	36.77	222	463.36	429	526.93
H28	243	129.60	82	68.45	250	588.49	493	718.09
H29	192	63.98	43	17.82	192	432.26	384	496.24
H30	174	48.20	47	7.68	127	599.63	301	647.83
R1	264	69.90	69	12.49	139	573.90	403	643.80
R2	234	56.77	36	4.93	101	587.68	335	644.45
R3	175	60.07	45	7.14	88	546.93	263	607.00
R4	188	46.31	51	8.64	102	592.74	290	639.05
R5	110	34.48	36	6.98	78	565.36	188	599.84
R6	74	37.36	43	13.75	80	451.32	154	488.68

付表 25 森林の土地の所有者届出書の件数と面積　（単位：件･ha）

年度	合計	
	件数	面積
H26	76	119.22
H27	95	84.79
H28	112	102.78
H29	115	88.20
H30	129	316.01
R1	142	159.87
R2	152	394.93
R3	180	333.26
R4	156	195.64
R5	186	215.07
R6	222	—

付表 26 豊田市森林会館の利用件数と利用者数 (単位：件･人)

年度	利用件数	利用者数
H22	32	1,207
H23	55	1,320
H24	66	1,766
H25	33	1,161
H26	50	1,355
H27	38	1,054
H28	42	983
H29	59	962
H30	43	763
R1	37	1,104
R2	23	417
R3	25	545
R4	23	285
R5	24	336
R6	24	341

付表 27 市有林で実施した作業の実績 (単位：箇所･ha･千円)

年度	面積	事業費	うち国県補助金	間伐			皆伐	支障木伐採	備考
				切置き	利用	巻枯らし			
H17	38.43	15,635	206	34.79	3.64	–	–	–	
H18	59.01	45,676	4,241	27.69	31.32	–	–	–	
H19	37.30	31,877	10,328	16.58	16.04	3.32	1.17	0.19	
H20	91.98	44,222	4,673	44.21	43.13	4.55	–	0.09	
H21	102.03	36,222	7,141	79.16	19.38	1.98	1.51	–	
H22	59.05	24,543	5,011	43.65	13.66	–	1.74	–	
H23	75.23	31,474	19,081	61.61	13.62	–	–	–	
H24	69.52	28,635	6,724	51.20	18.32	–	–	–	
H25	38.81	11,484	1,568	33.00	5.81	–	–	–	
H26	30.86	12,296	–	30.22	0.64	–	–	–	
H27	17.40	3,863	–	15.40	–	–	–	2.00	
H28	1.03	2,106	–	1.03	–	–	–	–	一部支障木伐採含む
H29	0.60	421	–	–	0.60	–	–	–	
H30	13.68	16,447	–	4.30	9.38	–	–	–	
R1	8.00	11,800	–	1.06	6.94	–	–	–	支障木伐採を除く
R2	5.83	6,741	–	–	5.83	–	–	–	
R3	1.70	1,201	–	1.70	–	–	–	–	
R4	7.38	16,020	–	5.44	1.23	–	0.74	–	
R5	12.56	8,164	–	12.56	–	–	–	–	
R6	7.20	14,567	5,000	5.20	2.00	–	–	–	

注 竹林整備を除く

付表 28 市有林の素材販売実績

（単位：千円・m^3）

年度	販売額	販売材積	皆伐	間伐	支障木
H17	5,068	330	–	209	120
H18	38,423	2,590	–	2,232	206
H19	27,664	2,173	268	1,787	118
H20	33,525	2,862	–	2,862	–
H21	19,520	1,634	405	1,319	–
H22	27,417	1,776	414	1,362	–
H23	19,144	1,601	–	1,601	–
H24	15,524	1,592	–	1,592	–
H25	1,679	167	–	167	–
H26	557	65	–	65	–
H27	–	–	–	–	–
H28	112	38	–	–	38
H29	485	46	–	46	–
H30	14,217	1,220	–	1,220	–
R1	9,297	715	–	715	–
R2	5,575	506	–	506	–
R3	–	–	–	–	–
R4	9,495	801	499	302	–
R5	–	–	–	–	–
R6	6,186	491	–	491	–

付表 29 豊田市林道一覧（令和6年度）

（単位：路線・m）

地区名	管理者	路線数	延 長	舗装路線数	舗装延長
豊田	市	19	31,523	14	28,286
	組合	3	1,684	–	–
	県	–	–	–	–
	計	22	33,207	14	28,286
藤岡	市	18	21,620	11	14,544
	組合	–	–	–	–
	県	1	1,833	1	1,833
	計	19	23,453	12	16,377
小原	市	23	38,377	20	34,857
	組合	–	–	–	–
	県	–	–	–	–
	計	23	38,377	20	34,857
足助	市	42	75,414	27	47,305
	組合	–	–	–	–
	県	3	11,987	1	3,287
	計	45	87,401	28	50,592
下山	市	53	121,236	39	76,889
	組合	–	–	–	–
	県	–	–	–	–
	計	53	121,236	39	76,889
旭	市	29	49,759	12	29,805
	組合	–	–	–	–
	県	1	1,919	–	–
	計	30	51,678	12	29,805
稲武	市	48	100,588	33	61,502
	組合	4	5,600	2	440
	県	–	–	–	–
	計	52	106,188	35	61,942
合計	市	232	438,517	156	293,188
	組合	7	7,284	2	440
	県	5	15,739	2	5,120
	計	244	461,540	160	298,748

付表 30 林業専用道(規格相当)開設事業（令和6年度市施工）

地区	路線名称	延長	幅員	事業費	国･県補助金	市費	受益者負担
–	–	–	–	–	–	–	–

付表 31 林道開設事業（令和6年度市施工）　（単位：m･%･千円）

地区	路線名称	延長	幅員	延長			R6 事業費	県 補助金	市費	受益者 負 担
				R6	開設済	進捗率				
稲武	野入立野線	1,009	4.0	129	1,009	100	40,964	27,000	13,545	419
合計							40,964	27,000	13,545	419

付表 32 過疎山村地域代行林道整備事業(愛知県施工)　(単位：m･%)

年度	下山	稲武	計
	田平沢平瀬線	河上瀬柏洞線	
～H19	—	6,046	6,046
H20	—	445	445
H21	—	447	447
H22	—	415	415
H23	—	—	—
H24	—	303	303
H25	—	331	331
H26	—	464	464
H27	—	395	395
H28	813	—	813
H29	168	—	168

年度	下山	稲武	計
	田平沢平瀬線	河上瀬柏洞線	
H30	311	72	383
R1	404	80	484
R2	19	34	53
R3	398	59	457
R4	413	—	413
R5	464	120	584
R6	318	331	649
延長計	3,308	9,542	
計画	10,600	9,800	
進捗率	31	97	

付表 33 林業用路網の開設延長

(単位：km)

年度	林 道	林業専用道	作業道				搬出路			合 計
			単市作業道	水源基金	あいち森と緑づくり事業	計	私有林	市有林	計	
H17	3.44	–	0.88	2.31	–	3.19	1.20	–	1.20	7.83
H18	3.92	–	0.52	2.71	–	3.23	2.90	–	2.90	10.05
H19	3.03	–	0.00	2.58	–	2.58	2.68	2.39	5.07	10.68
H20	3.33	–	2.41	3.12	–	5.53	9.80	2.82	12.62	21.48
H21	2.09	–	2.42	2.50	–	4.92	11.49	2.82	14.22	21.23
H22	2.57	–	3.71	3.38	–	7.09	12.08	3.01	15.09	24.75
H23	1.07	–	3.96	2.52	1.24	7.72	10.30	2.33	12.63	21.42
H24	0.89	2.38	2.40	2.96	–	5.36	10.93	1.15	12.08	20.71
H25	0.90	0.78	1.97	2.60	–	4.57	8.97	0.75	9.72	15.97
H26	0.97	2.32	2.07	2.33	–	4.40	14.72	0.24	14.96	22.65
H27	0.57	0.77	1.99	2.42	–	4.42	20.73	–	20.73	26.49
H28	0.98	–	1.17	2.16	–	3.33	27.28	–	27.28	31.59
H29	0.11	1.33	1.45	2.20	–	3.69	34.52	–	34.52	39.65
H30	0.38	–	1.49	2.85	–	4.34	37.83	1.55	39.38	44.10
R1	0.59	1.04	0.77	2.68	–	3.45	38.15	1.76	39.91	44.99
R2	0.09	0.18	0.52	3.12	–	3.64	34.91	1.50	36.41	40.32
R3	0.49	–	0.65	1.38	–	2.52	40.66	–	40.66	43.18
R4	0.41	–	1.16	1.78	–	2.94	38.00	–	38.00	41.35
R5	0.58	–	–	1.55	–	1.55	40.14	–	40.14	42.27
R6	0.78	–	0.64	0.53	–	1.17	44.29	–	44.29	46.24

注 単市作業道は、H17～H19は造林事業、H20からは間伐材搬出路網開設事業の作業道開設事業。

付表 34 林道改良及び舗装実績

(単位：m)

年度	改良	舗装
H17	757	5,931
H18	870	5,140
H19	708	5,666
H20	770	6,198
H21	1,436	4,659
H22	877	4,304
H23	816	1,900

年度	改良	舗装
H24	303	1,647
H25	808	1,780
H26	1,227	1,429
H27	467	2,552
H28	316	3,884
H29	1,472	2,939
H30	1,281	3,091

年度	改良	舗装
R1	940	3,007
R2	657	4,240
R3	487	3,135
R4	853	3,469
R5	1,422	1,925
R6	2,169	1,030

付表 35 林道改良事業（令和6年度市施工）　　（単位：m・千円）

地区	路線名称	延長	主な工種	事業費	県補助金	市費
小原	日面線	15	路肩修繕	13,825	8,000	5,825
足助	臼木2号線	188	法面改良	25,726	17,000	8,726
下山	川添線	10	橋りょう修繕	3,641	2,100	1,541
	峯山線ほか 1 路線	62	法面改良	7,401	4,200	3,201
	根山日掛線ほか 2 路線	100	法面改良	16,416	9,000	7,416
	エス小屋線ほか 1 路線	610	路面改良修繕	5,742	3,300	2,442
稲武	野入月ヶ平線	420	路面改良	11,416	6,600	4,816
	月ヶ平線	618	路面改良	10,874	5,280	5,594
	稲橋滝ヶ洞線ほか 3 路線	146	法面改良	25,343	15,000	10,343
合計		2,169		120,384	70,480	49,904

付表 36 林道舗装事業（令和6年度市施工）　　（単位：m・%・千円）

地区	路線名称 延長と幅員	延長	舗装済延長	進捗率	事業費	県補助金	市費
下山	尾根線 L4,372×W4.0	460	3,802	87	23,229	15,000	8,229
稲武	小川線 L4,472×W3.6～4.0	320	3538	79	12,783	8,000	4,783
	大見山線 L3,999×W4.0	250	2,137	53	11,114	7,200	3,914
合計		1,030			47,126	30,200	16,926

付表 37 市管理林道の修繕実績　　(単位：路線･箇所･千円)

年度	路線数	延べ箇所数	事業費	主な修繕内容
H22	100	145	53,437	崩土撤去4件 路肩保護9件 法面補修5件 路面補修16件 排水処理6件 施設設置93件
H23	88	121	38,661	崩土撤去14件 路肩･法面修繕20件 路面補修25件 排水処理8件 施設設置47件 支障物除去5件
H24	58	88	32,421	崩土撤去2件 路肩修繕12件 法面補修4件 路面補修20件 擁壁修繕1件 施設設置38件 排水処理11件
H25	87	126	61,776	崩土撤去等23件 路肩修繕31件 法面補修8件 路面補修36件 施設設置20件 排水施設8件
H26	49	69	47,094	崩土撤去等5件 路肩修繕15件 法面補修11件 路面補修16件 施設設置16件 排水施設6件
H27	35	40	29,482	崩土撤去等13件 路面補修16件 法面補修4件 排水施設7件
H28	32	89	22,044	崩土撤去等28件 路肩修繕14件 法面補修13件 路面補修30件 排水施設4件
H29	32	66	24,788	路肩修繕15件 法面補修12件 路面補修28件 安全施設1件 排水施設10件
H30	110	162	70,635	崩土撤去29件 路肩修繕41件 法面補修13件 路面補修25件 排水施設5件 安全施設1件 倒木撤去47件
R1	73	76	59,681	崩土撤去10件 路肩修繕23件 法面補修15件 路面補修28件 排水施設16件 安全施設5件 倒木撤去9件
R2	75	113	125,303	崩土撤去22件 倒木撤去8件 法面･路肩等修繕83件
R3	45	90	57,604	崩土撤去4件 倒木撤去10件 排水施設浚渫(しゅんせつ)3件 法面･路肩等修繕73件
R4	84	158	65,848	崩土撤去13件 倒木撤去18件 排水施設浚渫(しゅんせつ)7件 法面･路肩等修繕120件
R5	115	196	177,952	崩土撤去19か所 倒木撤去17か所 排水施設浚渫2か所 法面･路肩等修繕158か所
R6	56	136	78,589	崩土撤去4か所 倒木撤去31か所 法面･路肩等修繕101か所

付表 38　市有林界確定測量業務　　（単位：m^2・件・千円）

年度	市有林名	台帳面積	実測面積	立会件数	事業費
H18	二タ瀬	183,971	334,718	18	9,135
H19	黒坂②	305,690	278,697	17	10,080
	田螺池②	59,680	59,413	22	
H20	大洞	529,160	601,864	25	16,275
H21	大多賀	465,578	542,300	11	13,125
H22	長坂	113,327	357,739	26	11,340
	御蔵	74,019	176,209	24	5,985
H23	奥山	300,395	535,248	17	5,454
H24	月原	685,800	691,770	14	17,315
	石楠	33,242	33,242	17	
H25	三ツ足	437,118	437,089	–	10,215
	桑原	4,545	11,098	4	
H26	四ツ松	170,669	375,482	7	10,282
	中之御所	47,742	76,540	28	3,913
H27	総山	85,701	299,370	20	13,780
	チソ	117,764	114,771	20	
H28	上川口	69,297	143,045	4	7,636
	稽古屋	9,369	28,561	3	
H29	木瀬	148,000	145,525	9	9,093
	小滝野	44,500	27,995	5	
H30	東大見	104,878	116,300	11	6,199
R1	西市野々	63,175	63,558	13	4,935
R2	–	–	–	–	–
R3	–	–	–	–	–
R4	–	–	–	–	–
R5	–	–	–	–	–
R6	–	–	–	–	–

令和6年度版　豊田市森づくり白書

令和7年12月

発行者　　豊田市

編　集　　豊田市 産業部 森林課

〒444-2424
愛知県豊田市足助町宮ノ後19-5
（豊田市役所足助支所北庁舎）
ＴＥＬ：　0565-62-0602
ＦＡＸ：　0565-62-0612
E-mail:　shinrin@city.toyota.aichi.jp